

大学総合診療関連部門に関する全国調査 報告書

令和4年11月

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会

一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会(<https://www.primarycare-japan.com>)
(事務局) 〒100-0005 東京都千代田区丸の内 2-2-1 岸本ビルディング 6 階

〈世話人・事務局リスト〉

ブロック	担当委員氏名	所 属
北海道 東 北	井口 清太郎	新潟大学
	住友 和弘	東北医科薬科大学
	辻 喜久	札幌医科大学
関東・甲信越	石川 鎮清	自治医科大学
	木村 琢磨	埼玉医科大学
	竹村 洋典	東京女子医科大学
	橋本 正良	東京医科歯科大学
	森 隆浩	国際医療福祉大学
中 部	大杉 泰弘(副委員長)	藤田医科大学
	佐藤 寿一	名古屋大学
	山城 清二	富山大学
近 畿	鈴木 富雄(副委員長)	大阪医科薬科大学
	西尾 健治	奈良県立医科大学
中 国	谷口 晋一	鳥取大学
	黒川 典枝	山口大学
四 国	阿波谷 敏英(副委員長)	高知大学
九 州	前田 隆浩(委員長)	長崎大学
	松井 邦彦	熊本大学
	吉村 学	宮崎大学
担当副理事長	前野 哲博	筑波大学
集計担当	本多 由起子	長崎大学

はじめに

全国的に社会の高齢化や医療・ケアニーズの高度化・多様化が進む中、プライマリ・ケアを担う総合診療医・家庭医は、地域医療をはじめ様々な分野で重要な役割を担う存在として大きな期待が寄せられております。日本プライマリ・ケア連合学会では、継続的で包括的な保健・医療・福祉の実践及び学術活動を行うことを目的として掲げ、その担い手である総合診療医・家庭医の育成に力を入れております。医学生や若手医師が集う全国の大学医学部・医科大学にも主に1990年代から総合診療関連部門の整備が進み、総合診療に関する診療・教育・研究に取り組んでおられることと拝察いたします。本学会の活動を進めていく上で大学総合診療関連部門との連携は不可欠であることから、本学会内に大学ネットワーク委員会を設置し、大学と学会の連携を深めるとともに大学間の連携を強めるよう体制作りを進めているところです。

しかしながら、大学によって総合診療関連部門の規模と置かれている状況、そして活動内容は多様であり、今後の発展に向けては大学間の相互理解を進め具体的な協働体制を構築していく必要性を感じています。この度、大学間連携の促進に資する資料を作成するため、本学会の大学ネットワーク委員会を中心となって、大学総合診療関連部門に関する全国調査を実施いたしました。

日常の業務に加えて新型コロナウイルス感染症への対応で多忙を極める中、本調査にご協力頂いた方々に心より御礼を申し上げますとともに、本報告書が大学総合診療関連部門の発展・向上に少しでも貢献できればと願いつつご挨拶といたします。

日本プライマリ・ケア連合学会
理事長 草場 鉄周

目 次

調査概要.....	1
回答大学数	2
結果の概要	3
Part I :基本情報について	
Q1. 構成メンバーについて.....	4-6
Q2. 部門の設置形態について.....	7
Q3. 部門の設置種別について.....	8-10
Q4. 診療/教育/研究/その他のエフォートについて	11
Q5. 貴部門の下記専門研修プログラムへの関わりについて	12-13
Part II :診療について	
Q6. 大学病院における診療について	14-23
Q7. COVID-19 診療等に関して	24-36
Part III :教育について	
Q8. 教育	37-49
Part IV :研究について	
Q9. 研究について	50-64
Q10. 部門としての特色等について	65-76
配布調査票	77-81

大学総合診療関連部門に関する全国調査

結果のまとめ

【集計・報告書作成にあたって】

集計にあたっては、回答の不明瞭な点や矛盾点などを出来る限り各大学に問い合わせながら回答を正確に反映させるよう試みたが、一部で前後の関連や記載から解釈して適宜修正を加えた。報告書は調査票の質問項目順に記載し、自由記載の掲載にあたっては大学名が明らかにならないように修正した。

大学の特性を考慮して基本的に下記の3グループに分類して集計した。

1. 全大学: 全国の大学医学部・医科大学のうち回答のあった 64 大学(※1)
2. 国公立大学: 全国の国立大学医学部・医科大学のうち回答のあった 42 大学(※1)
3. 私立大学: 全国の私立大学医学部・医科大学のうち回答のあった 22 大学

※1 1 大学は都合上 2 施設分けて集計したため母数は 65 大学とした

大学総合診療関連部門に関する全国調査
報告書

(中編)

調査概要

〈調査の趣旨と経緯〉

本調査「大学総合診療関連部門に関する全国調査」は、日本プライマリ・ケア連合学会大学ネットワーク委員会の企画で実施しました。大学ネットワーク委員会では、「全国の大学医学部・医科大学の総合診療関連部門の連携を構築・強化し、専門医の育成や学術活動の活性化等に向けた活動を支援する」ことを目標に掲げ、これまで学術集会でのシンポジウムや学生セッションを企画・運営してきました。「大学総合診療関連部門に関する調査と報告書作成」を本委員会の2020年度～2021年度活動計画として位置づけ、総合診療関連部門の活動状況等について取りまとめ、大学間連携を促進するための資料作りを目的として下記概要の通り実施致しました。

本調査の最後には自由記載欄を設け、各大学の特色等を記載してもらいましたので、ご確認の上、具体的な連携推進の参考資料として頂ければ幸いです。

〈調査方法・内容〉

調査期間:2022年4月(5月以降に回答した大学も集計に加えた。)

調査対象:全国の大学総合診療関連部門

調査項目:主に下記5項目で構成した。

- ① 基本情報:部門の構成メンバー数、専門研修プログラム等
- ② 診療:外来・入院診療、救急医療・COVID-19診療への関与等
- ③ 教育:卒前教育・初期臨床研修・大学院教育への関与等
- ④ 研究:研究実績、外部資金獲得状況、研究分野等
- ⑤ 自由記載:部門としての特色等

倫理的配慮:長崎大学大学院医歯薬学総合研究科の倫理審査を受け、研究許可(研究許可番号:22031802)を得た上で実施した。

調査方法:ナレッジデータサービス株式会社に調査・集計を委託した。また、大学ネットワーク委員会の委員を7ブロック(北海道・東北ブロック、関東・甲信越ブロック、中部ブロック、近畿ブロック、中国ブロック、四国ブロック、九州ブロック)に割り当て、ブロック内の大学との連絡調整にあたりとともに回答率の向上に努めた。

■回答大学数

全国 82 大学中、64 大学

■大学種別及び地域ブロック別回答率

大学総合診療関連部門の設置なしと回答があった 3 大学を除き算出

分類	回答	対象	比率
国公立	42	49	85.7%
私立	22	30	73.3%
全大学	64	79	81.0%

ブロック	回答	対象	比率
北海道	3	3	100.0%
東北	5	6	83.3%
関東甲信越	17	28	60.7%
中部	9	11	81.8%
近畿	10	10	100.0%
中国	6	6	100.0%
四国	4	4	100.0%
九州	10	11	90.9%
全大学	64	79	81.0%

尚、特定の1大学は都合上 2 施設分けて集計したため調査の回答母数は 65 大学(国公立 43 大学、私立 22 大学)とした。

また、Q10. 部門としての特色等についてのみ回答いただいた大学に関しては上の母数に含まない。

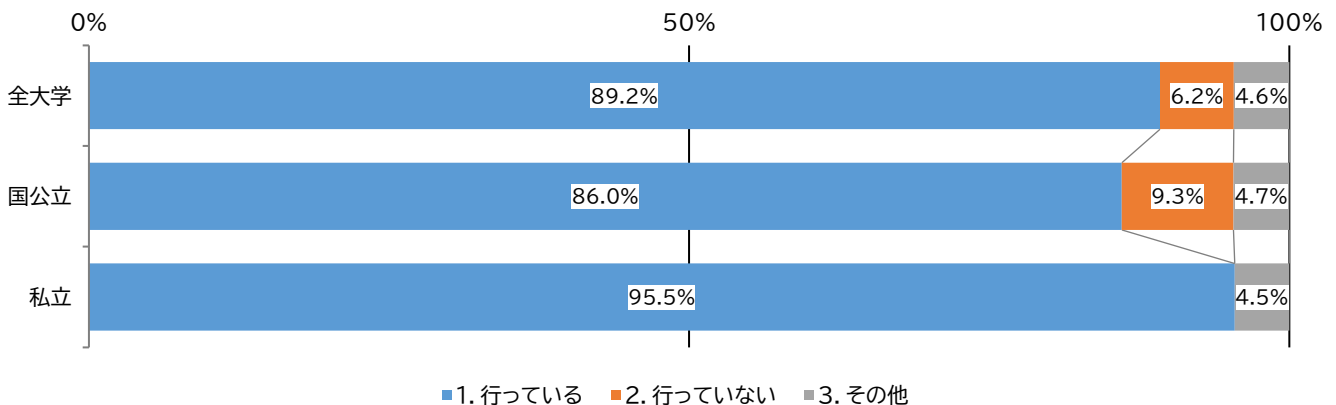
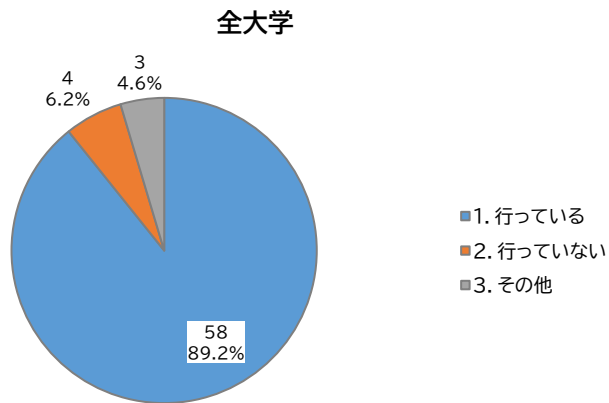
結果の概要

- 2022年4月1日時点における大学総合診療関連部門に関する全国調査を行った(回答率:81.0%)。
- 部門の構成メンバー数は、平均9.1人(本務のメンバーは平均7.3人)であった。
- 所属する総合診療専門研修プログラムの専攻医数は、平均5.4人であった。
- 53大学(81.5%)が基幹型施設として総合診療専門研修プログラム(日本専門医機構認定)を有していた。
- 総合診療関連部門の設置場所は、①医学部(37.5%)、②大学病院診療部門(29.7%)、①・②の兼務(31.3%)であった。
- 総合診療関連部門は、56大学(86.2%)が専任部門として設置されており、5大学(7.7%)は兼任部門として設置されていた。
- 専任部門がある56大学中、41大学(73.2%)は学内設置であり、5大学(8.9%)は寄附講座であった。
- 診療・教育・研究・その他のエフォート割合は、それぞれ46.2%・34.2%・15.6%・4.0%であった。
- 65大学中、58大学(89.2%)が外来診療を行っていた。
- 初診患者数は平均811.4人/年で、延再診患者数は平均4,186.6人/年であった。
- 64大学中、34大学(53.1%)が入院診療を行っていた。
- 新入院患者数は平均249.2人/年で、平均在院日数は13.8日であった。
- 65大学中、32大学(49.2%)が救急医療に関わっており、年間の救急延患者数は1,183.3人であった。
- 64大学中、42大学(65.6%)がCOVID-19外来診療を担当していた。
- 65大学中、26大学(40.0%)がCOVID-19入院診療を担当していた。
- 65大学中、24大学(36.9%)が大学病院の感染制御チーム(Infection Control Team)に加わっていた。
- 64大学中42大学(65.6%)で大学内の、63大学中37大学(58.7%)が大学外での新型コロナウイルスワクチン接種業務に参加していた。
- 64大学中25大学(39.1%)が療養施設(ホテル等)での診療・相談業務に参加していた。
- 回答した全ての大学が卒前教育を担当しており、65大学中55大学(84.6%)が初期臨床研修で指導していた。
- 63大学中、46大学(73.0%)が博士課程を開講しており、開講している46大学中、32大学(69.6%)に大学院生が在籍していた。
- 2019年度～2021年度の3年間に、65大学中47大学(72.3%)の総合診療関連部門が研究代表者として外部資金を獲得していた。
- 2019年度～2021年度の3年間に、学会発表(国際:平均3.3件、国内:平均30.8件)、論文発表(欧文:平均21.5編、邦文:平均8.6編)があった。

■Q6. 大学病院における診療についてお伺いします。(大学病院の分院を含む)

Q6-1. 大学病院で外来診療を行っていますか？

		全大学	国公立	私立
N		65	43	22
Q6-1	1. 行っている	58(89.2%)	37(86.0%)	21(95.5%)
	2. 行っていない	4(6.2%)	4(9.3%)	0(0.0%)
	3. その他	3(4.6%)	2(4.7%)	1(4.5%)



65 大学中、58 大学(89.2%)の総合診療関連部門で外来診療がなされていた。
 ほぼ全ての私立大学は外来診療を行っていた。
 国公立大学の 4 大学では外来診療を行っていなかった。

→大学病院で外来診療を行っている場合

Q6-1-1. 通常の開診日数を記入して下さい。

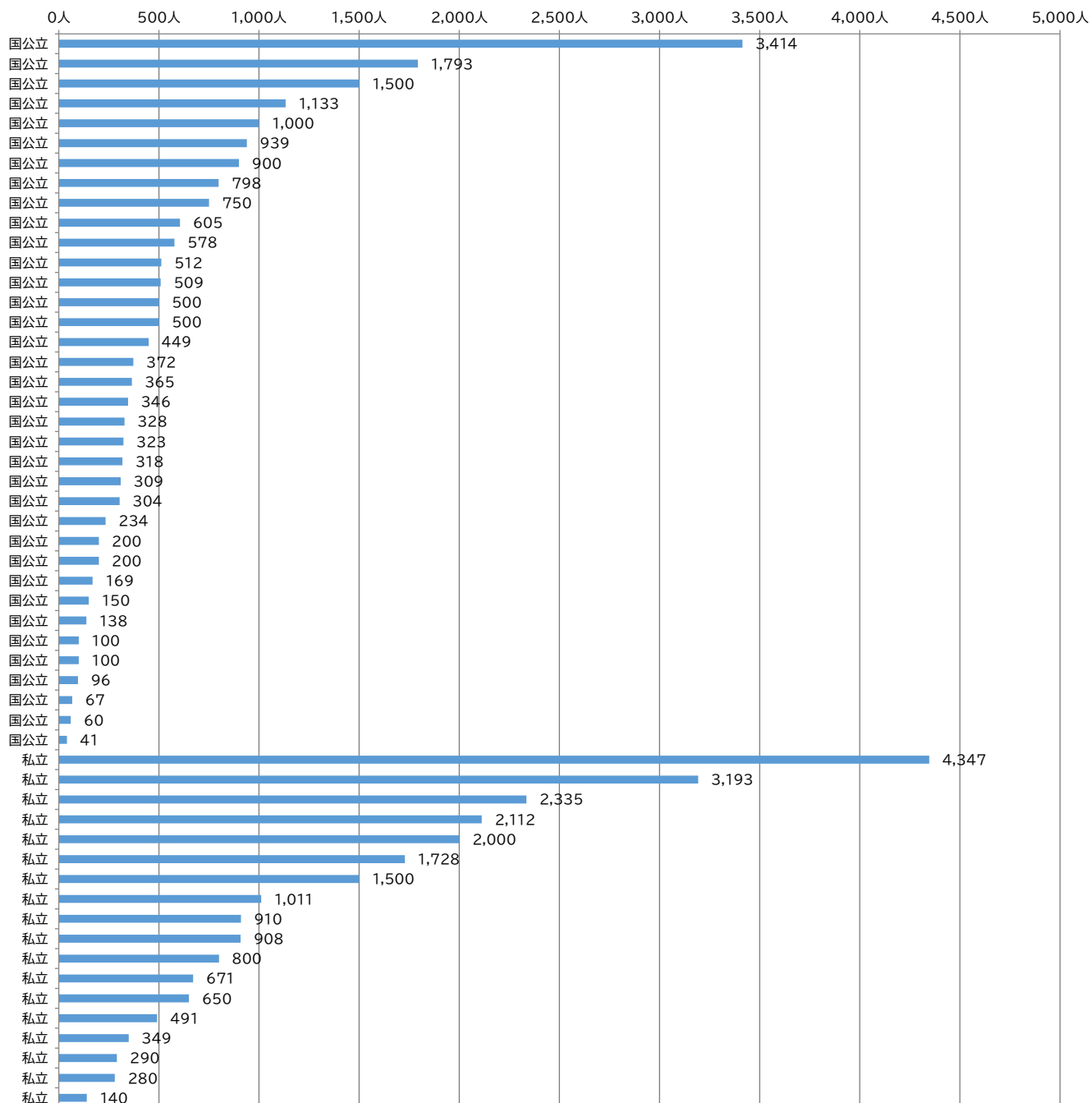
		全大学	国公立	私立
N		58	37	21
開診日数(日/週)		5.0日	4.8日	5.3日

※平均

Q6-1-2. 診療実績を記入して下さい。(※2021年度の年間患者数を記入して下さい。)

	全大学	国公立	私立
N	54	36	18
1. 新患の患者数(初診患者数 人/年)	811.4人	558.3人	1,317.5人

※平均

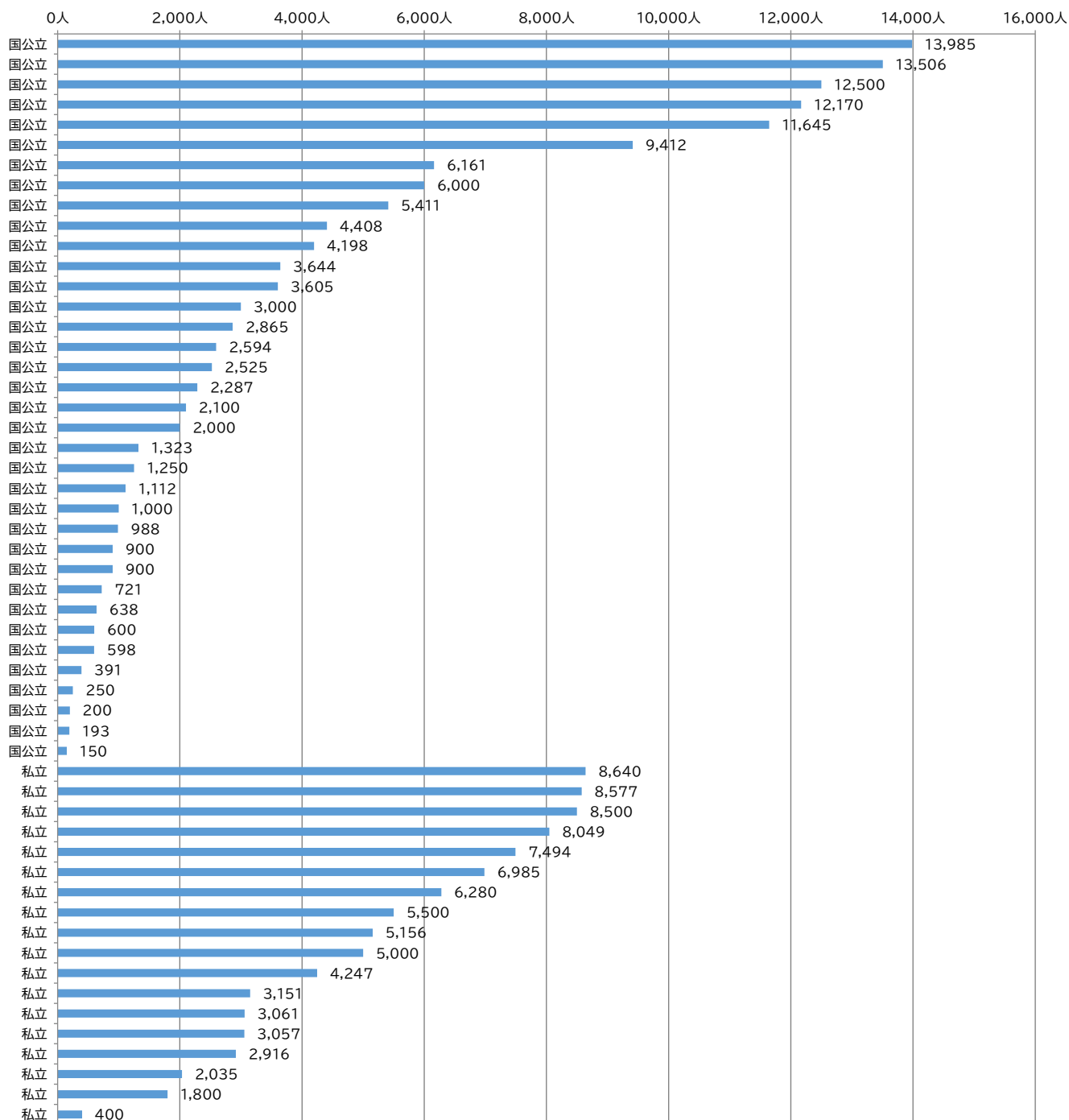


平均の開診日数は、ほぼ週5日であった。
 年間の平均新患数は811.4人で、国公立大学(558.3人)に比べて私立大学(1,317.5人)が多かった。
 年間の新患数は41人から4,347人まで、大学によって大きなばらつきがあった。
 (開診日数を年間20日/月×12カ月=240日とすると、1日あたりの平均新患数は全国で約4.4人(国公立大学が約2.3人、私立大学が約5.5人)と推定された。)

Q6-1-2. 診療実績を記入して下さい。(※2021年度の年間患者数を記入して下さい。)

	全大学	国公立	私立
N	54	36	18
2. 再診の患者数(延べ数 人/年)	4,186.6人	3,756.4人	5,047.1人

※平均



年間の平均再来患者数は 4,186.6 人で、国公立大学(3,756.4 人)に比べて私立大学(5,047.1 人)で多かった。

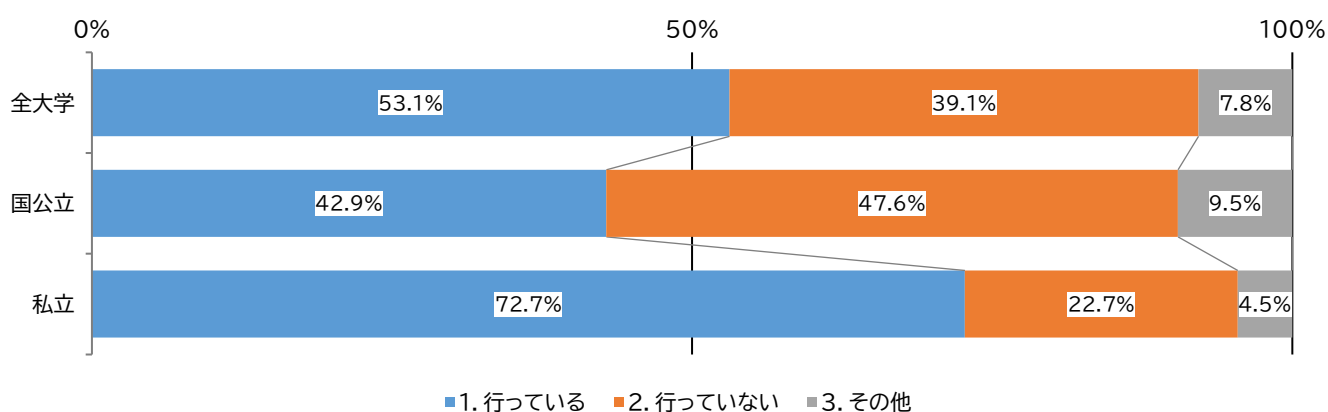
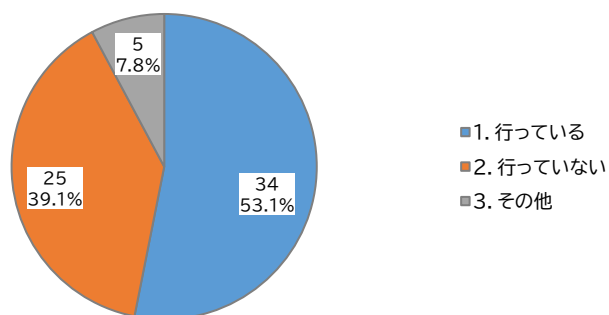
年間の再来患者数は 150 人から 13,985 人まで、大学によって大きなばらつきがあった。

(開診日数を年間 20 日/月×12 カ月=240 日とすると、1 日あたりの平均再来患者数は全国で約 17.4 人(国公立大学が約 15.7 人、私立大学が約 21.0 人)と推定された。)

Q6-2. 大学病院で入院診療を行っていますか？

		全大学	国公立	私立
N		64	42	22
Q6-2	1. 行っている	34(53.1%)	18(42.9%)	16(72.7%)
	2. 行っていない	25(39.1%)	20(47.6%)	5(22.7%)
	3. その他	5(7.8%)	4(9.5%)	1(4.5%)

全大学



64 大学中、34 大学(53.1%)の総合診療関連部門は入院診療を行っていたが、25 大学(39.1%)では入院診療を行っていなかった。

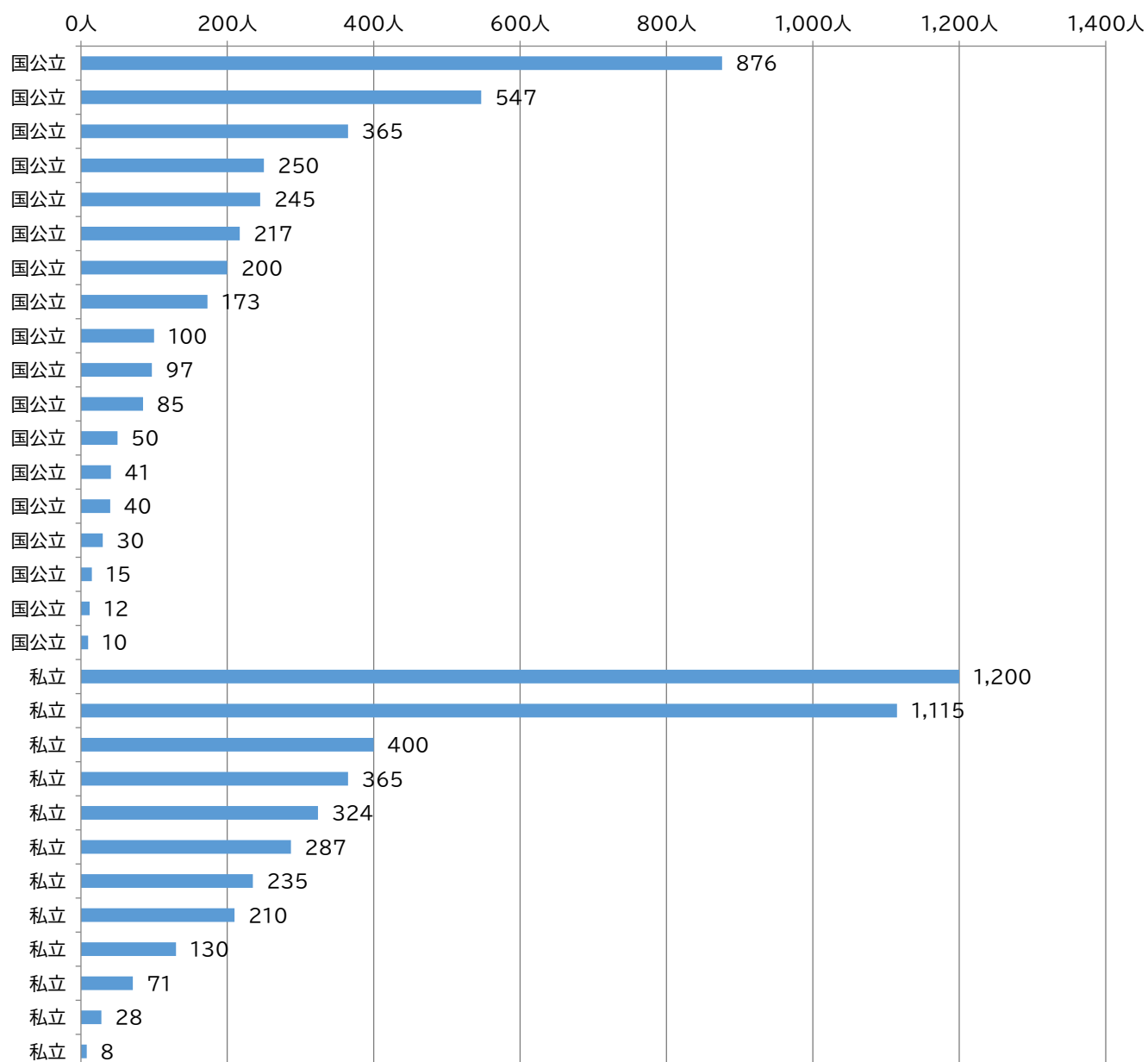
入院診療を行っている大学の割合は、国公立大学(42.9%)に比べ、私立大学(72.7%)で高かった。

→大学病院で入院診療を行っている場合

■Q6-2-1. 新入院患者数／年間平均在院日数を記入して下さい。

	全大学	国公立	私立
N	31	18	13
1. 新入院患者数(人／年)	249.2 人	186.3 人	336.4 人

※平均

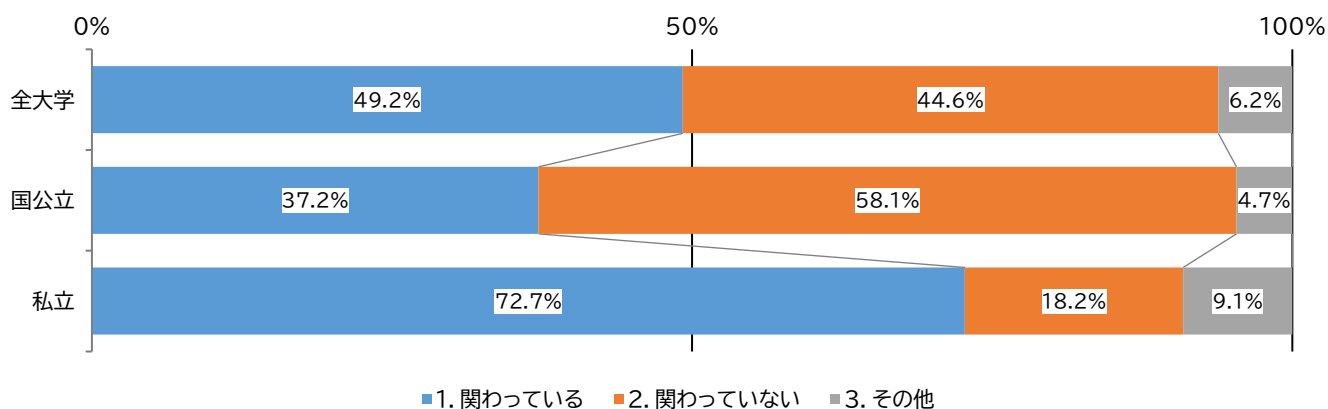
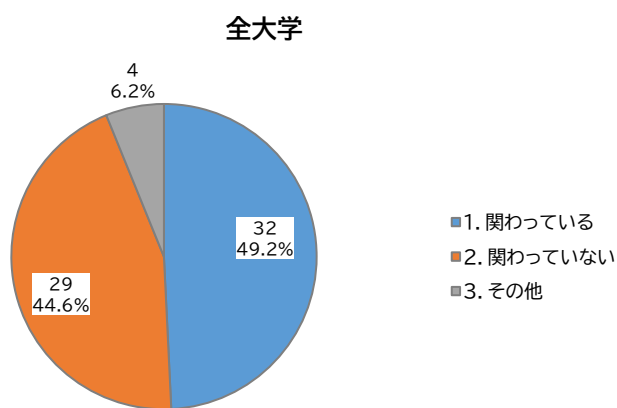


年間の新入院患者数は、全大学の平均が 249.2 人で、国公立大学(186.3 人)に比べ私立大学(336.4 人)で多い傾向にあった。8 人から 1200 人まで、大学によって大きなばらつきがあった。

	全大学	国公立	私立
N	31	18	13
2. 年間平均在院日数(日)	13.8 日	14.1 日	13.4 日

Q6-3. 大学病院で救急医療に関わっていますか？

		全大学	国公立	私立
N		65	43	22
Q6-3	1. 関わっている	32(49.2%)	16(37.2%)	16(72.7%)
	2. 関わっていない	29(44.6%)	25(58.1%)	4(18.2%)
	3. その他	4(6.2%)	2(4.7%)	2(9.1%)



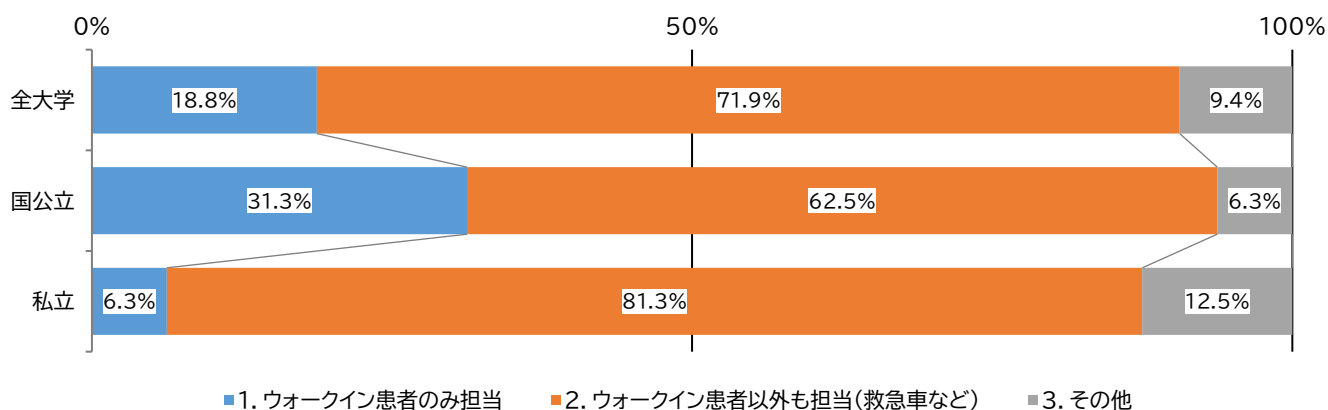
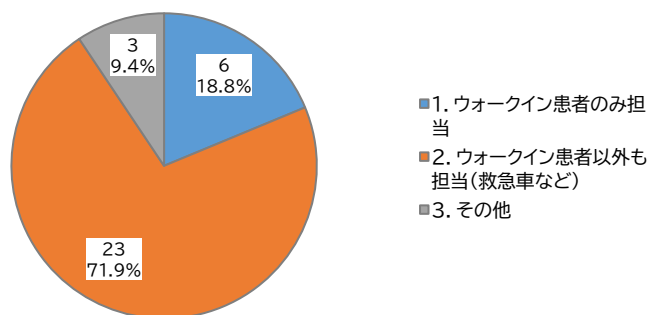
65 大学中、救急医療に関わっている総合診療関連部門は、ほぼ半数の 32 大学(49.2%)であった。関わっている大学の割合は、国公立大学(37.2%)に比べ、私立大学(72.7%)が高かった。

→大学病院で救急医療に関わっている場合

Q6-3-1. 対応している内容

		全大学	国公立	私立
N		32	16	16
Q6-3-1	1. ウォークイン患者のみ担当	6(18.8%)	5(31.3%)	1(6.3%)
	2. ウォークイン患者以外も担当(救急車など)	23(71.9%)	10(62.5%)	13(81.3%)
	3. その他	3(9.4%)	1(6.3%)	2(12.5%)

全大学



救急医療に関わっている 32 大学では、6 大学(18.8%)がウォークイン患者のみに対応していた一方、23 大学(71.9%)ではウォークイン患者だけでなく救急車等の救急医療にも対応していた。

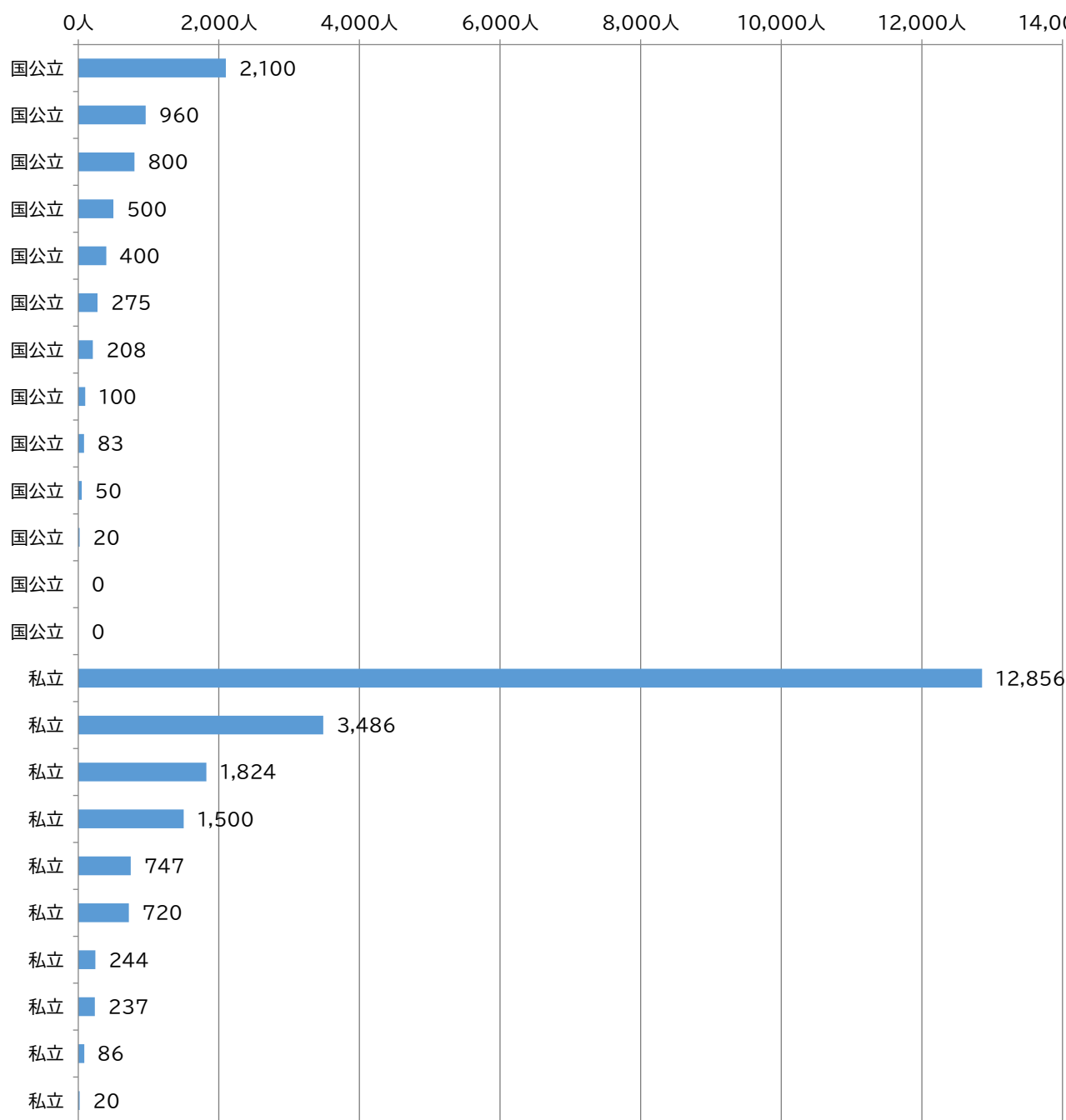
救急車等の救急医療に対応している大学の割合は、国公立大学(62.5%)に比べ私立大学(81.3%)で高かった。

→大学病院で救急医療に関わっている場合

■Q6-3-2. 総合診療部門として対応した年間延べ患者数を記入して下さい。

	全大学	国公立	私立
N	23	13	10
年間延べ患者数(人/年)	1,183.3人	422.8人	2,172.0人

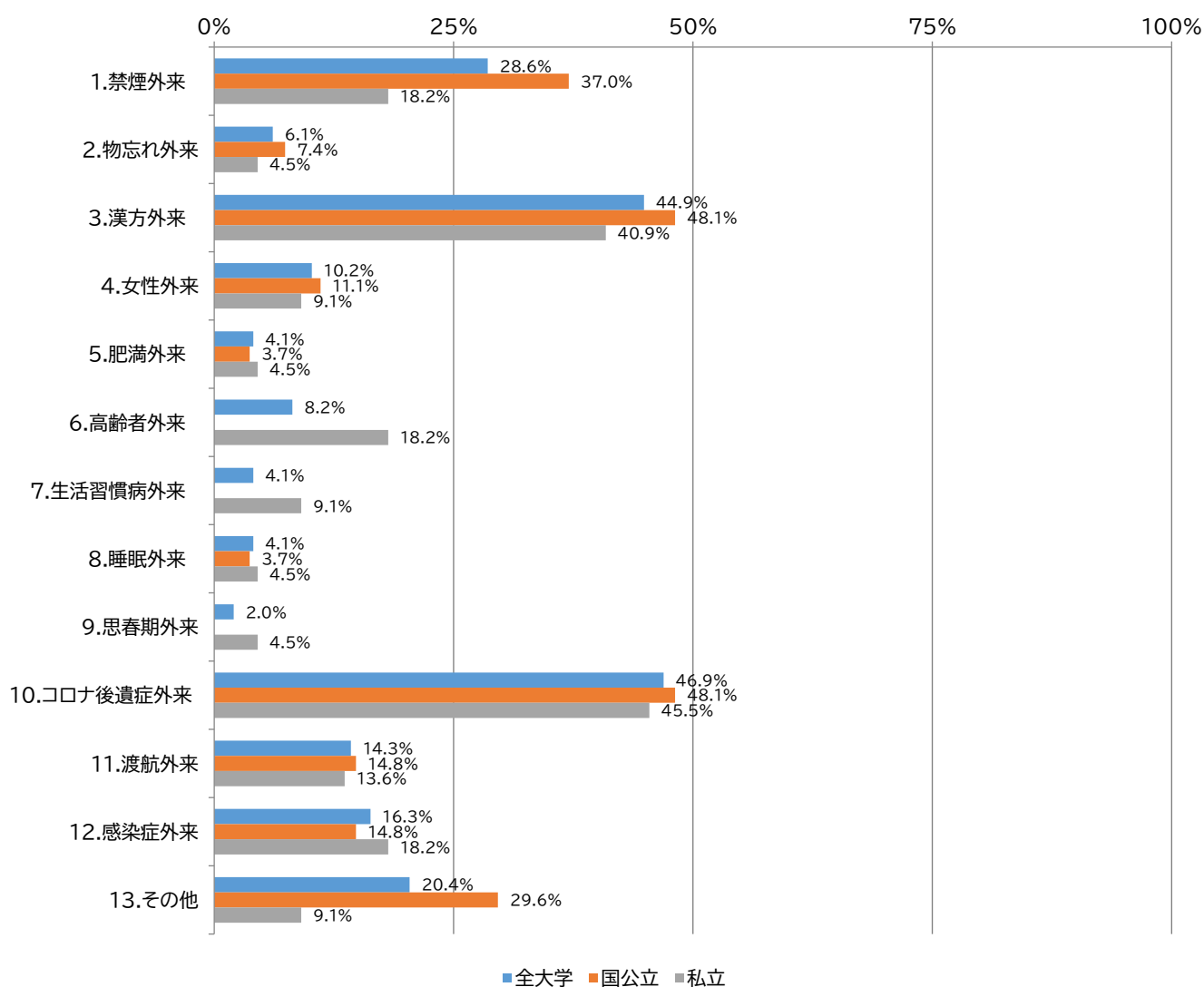
※平均



総合診療関連部門で対応した年間延べ救急患者数は、全大学平均 1,183.3 人で、国公立大学(422.8 人)に比べ私立大学(2,172.0 人)で多かった。救急患者数は大学によってバラツキが大きく、数大学で精力的に取り組んでいる実態が見受けられた。

■Q6-4. 大学病院で特殊診療を担当していますか？

		全大学	国公立	私立
N		49	27	22
Q6-4	1.禁煙外来	14(28.6%)	10(37.0%)	4(18.2%)
	2.物忘れ外来	3(6.1%)	2(7.4%)	1(4.5%)
	3.漢方外来	22(44.9%)	13(48.1%)	9(40.9%)
	4.女性外来	5(10.2%)	3(11.1%)	2(9.1%)
	5.肥満外来	2(4.1%)	1(3.7%)	1(4.5%)
	6.高齢者外来	4(8.2%)	0(0.0%)	4(18.2%)
	7.生活習慣病外来	2(4.1%)	0(0.0%)	2(9.1%)
	8.睡眠外来	2(4.1%)	1(3.7%)	1(4.5%)
	9.思春期外来	1(2.0%)	0(0.0%)	1(4.5%)
	10.コロナ後遺症外来	23(46.9%)	13(48.1%)	10(45.5%)
	11.渡航外来	7(14.3%)	4(14.8%)	3(13.6%)
	12.感染症外来	8(16.3%)	4(14.8%)	4(18.2%)
	13.その他	10(20.4%)	8(29.6%)	2(9.1%)



※複数回答の割合(回答比率)については回答数ではなく回答大学数で割っているため合計しても100%にはなりません

特殊診療を担当していると回答のあった49大学中、多かった上位の3特殊診療は、コロナ後遺症外来(23大学)・漢方外来(22大学)・禁煙外来(14大学)であった。

・その他の記述

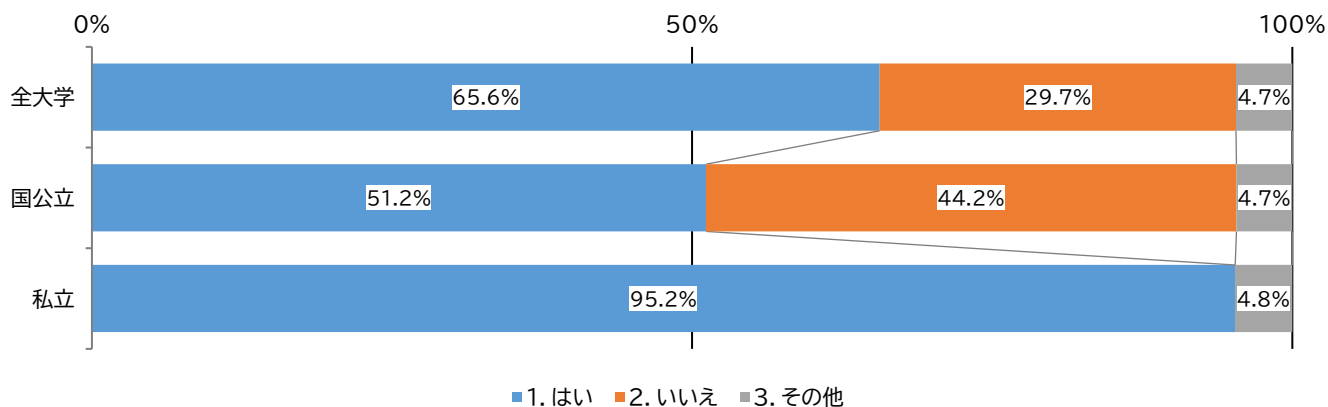
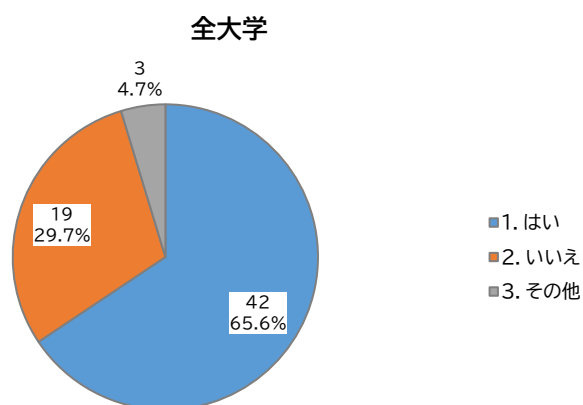
新型コロナウイルスワクチン副反応外来
コロナ対策診療(ドライブスルー外来・ホテル療養所);大学病院の正規診療となっております
慢性疲労症候群外来、自己炎症症候群外来
深部静脈血栓外来
リンパ浮腫外来、リラクゼーション外来、コロナワクチン副反応外来
ワクチン副反応外来
針刺し時の診療、コロナワクチン副反応外来
総合診療科、ER
心療内科
発熱外来(COVID-19)のスクリーニング

■Q7. COVID-19 診療等についてお伺いします。

Q7-1. COVID-19 診療についてお伺いします。

Q7-1-1. 大学病院での COVID-19 の外来診療(発熱外来等を含む)を担当していますか？

		全大学	国公立	私立
N		64	43	21
Q7-1-1	1. はい	42(65.6%)	22(51.2%)	20(95.2%)
	2. いいえ	19(29.7%)	19(44.2%)	0(0.0%)
	3. その他	3(4.7%)	2(4.7%)	1(4.8%)

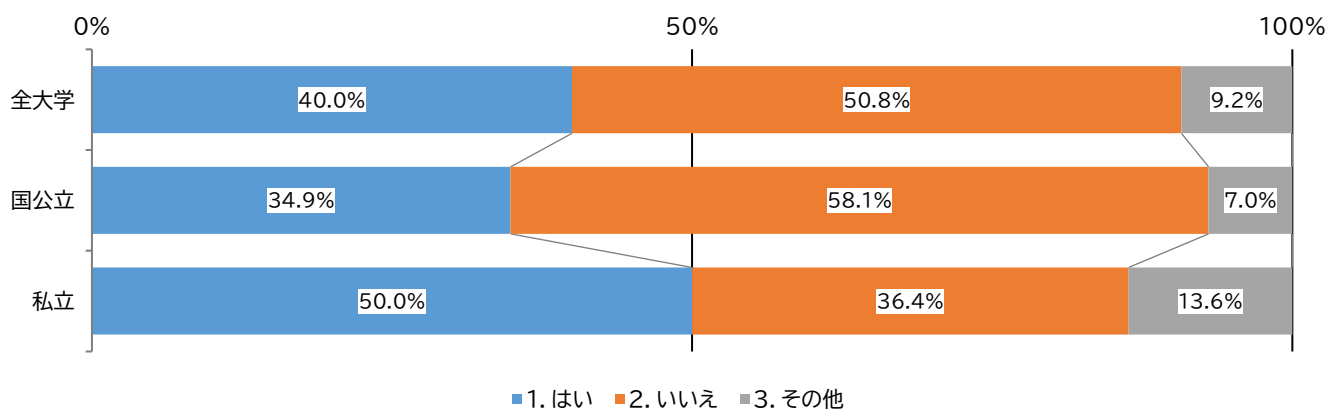
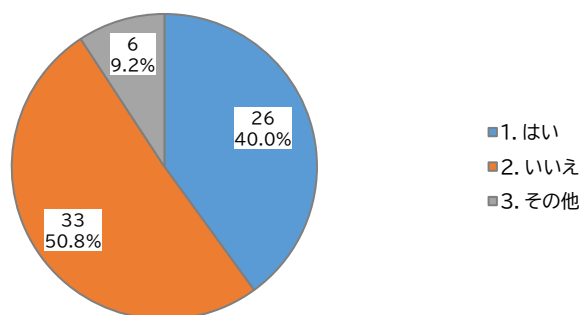


64 大学中、42 大学(65.6%)の総合診療関連部門が COVID-19 外来診療を担当していた。
 国公立大学はほぼ半数の 22 大学(51.2%)が COVID-19 外来診療を担当していたのに対し、私立大学ではほぼ全大学(95.2%)が担当していた。

Q7-1-2. 大学病院での COVID-19 の入院診療を担当していますか？

		全大学	国公立	私立
N		65	43	22
Q7-1-2	1. はい	26(40.0%)	15(34.9%)	11(50.0%)
	2. いいえ	33(50.8%)	25(58.1%)	8(36.4%)
	3. その他	6(9.2%)	3(7.0%)	3(13.6%)

全大学



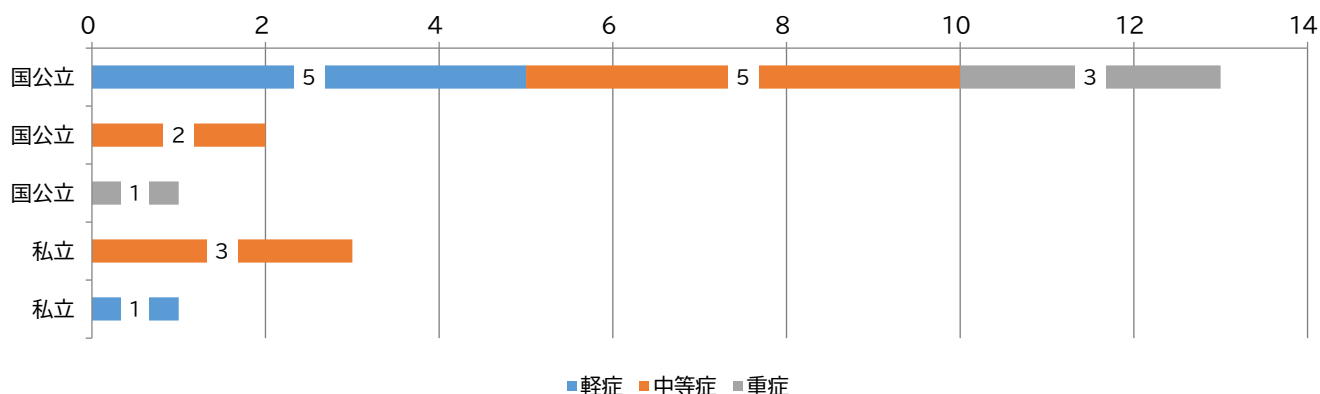
65 大学中、26 大学(40.0%)の総合診療関連部門が COVID-19 入院診療を担当していた。担当している大学の割合は、外来診療と同様に国公立大学(34.9%)に比べ、私立大学(50.0%)で高かった。

→大学病院での COVID-19 の入院診療を担当している場合

■Q7-1-2-1. 担当した COVID-19 入院患者数

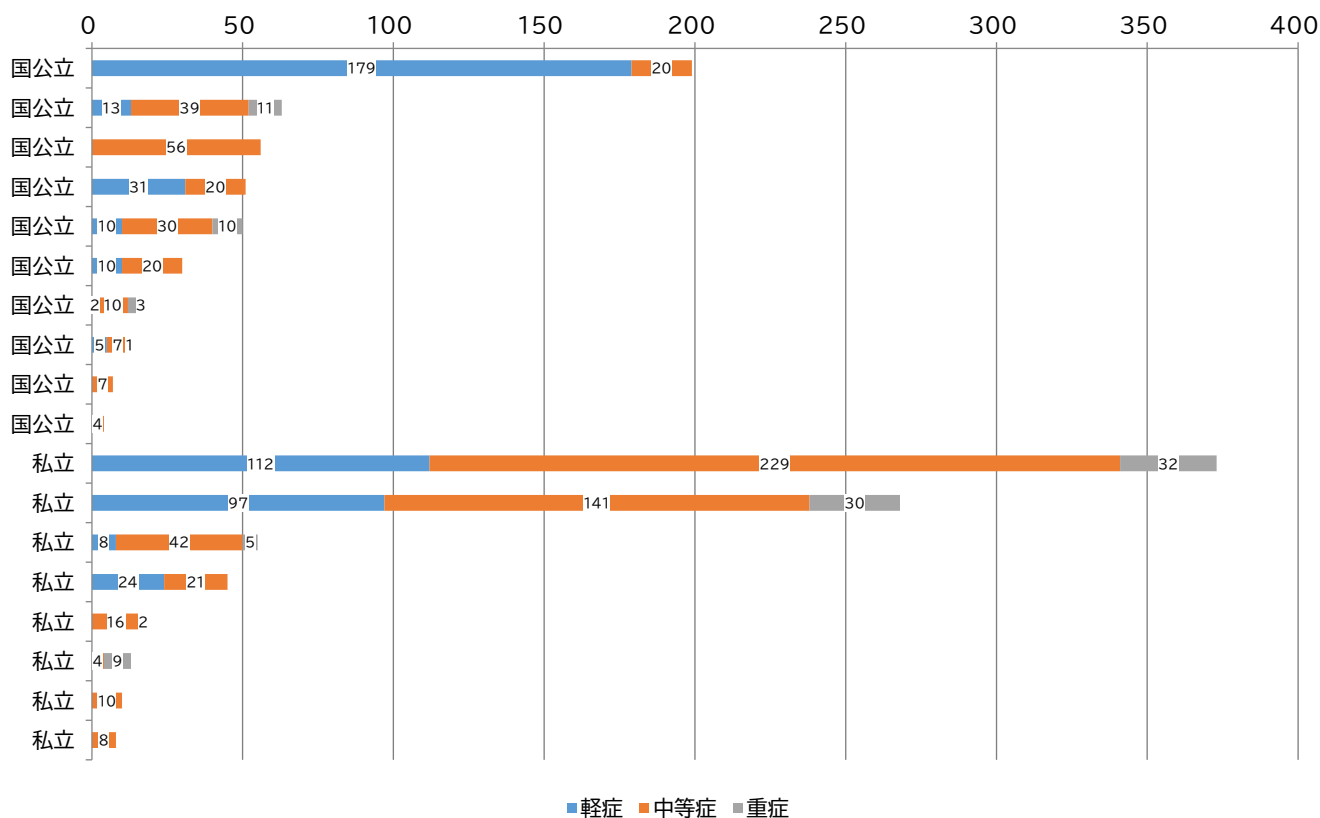
		全大学	国公立	私立
N		5	3	2
2019 年度	重症	0.8 人(4 人)	1.3 人(4 人)	0.0 人(人)
	中等症	2.0 人(10 人)	2.3 人(7 人)	1.5 人(3 人)
	軽症	1.2 人(6 人)	1.7 人(5 人)	0.5 人(1 人)
	合計	4.0 人(20 人)	5.3 人(16 人)	2.0 人(4 人)

※平均(実数)



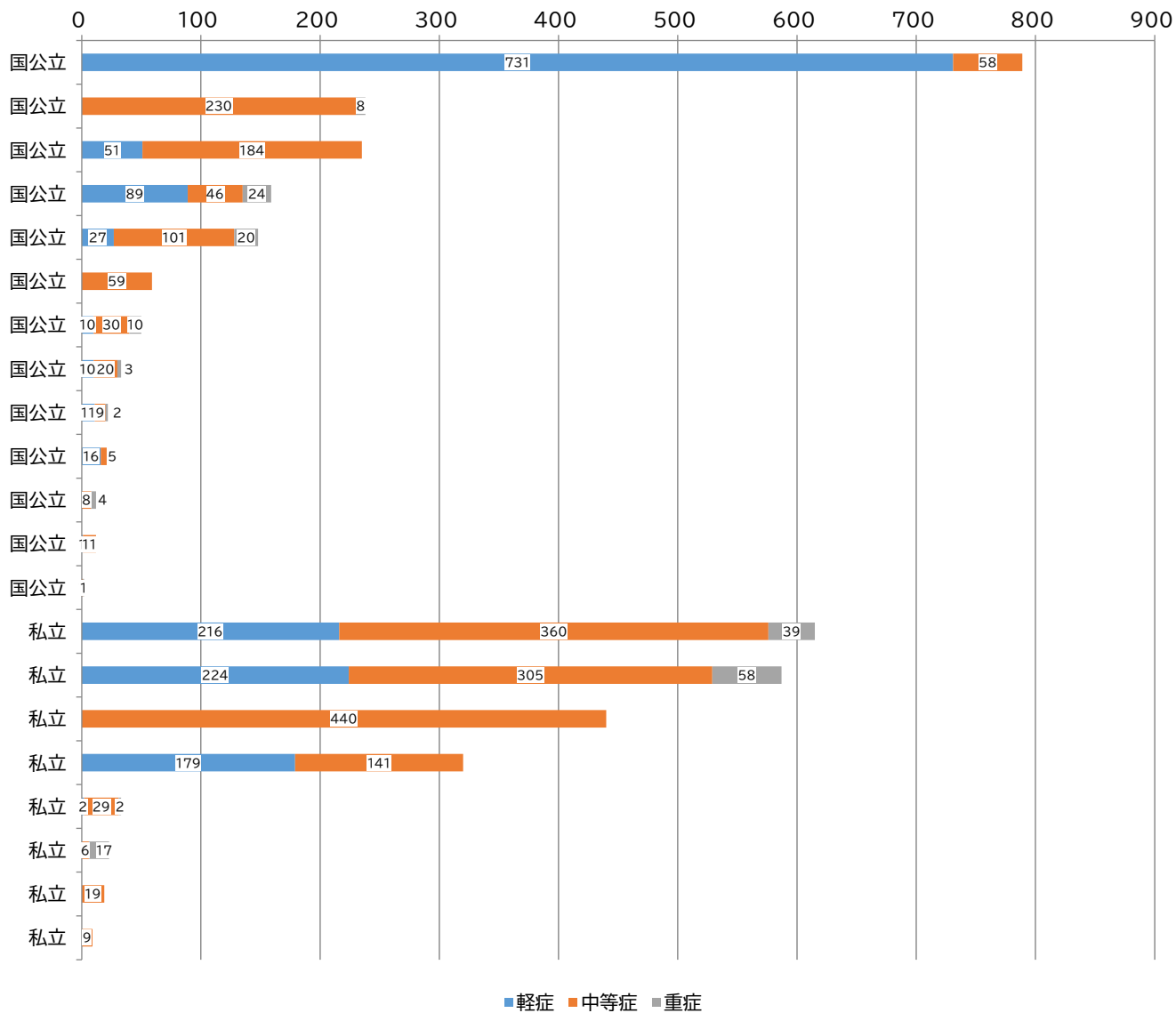
		全大学	国公立	私立
N		18	10	8
2020 年度	重症	5.7 人(103 人)	2.5 人(25 人)	9.8 人(78 人)
	中等症	38.0 人(684 人)	21.3 人(213 人)	58.9 人(471 人)
	軽症	27.3 人(491 人)	25.0 人(250 人)	30.1 人(241 人)
	合計	71.0 人(1,278 人)	48.8 人(488 人)	98.8 人(790 人)

※平均(実数)



		全大学	国公立	私立
N		21	13	8
2021 年度	重症	9.0 人(188 人)	5.5 人(72 人)	14.5 人(116 人)
	中等症	98.6 人(2,071 人)	58.6 人(762 人)	163.6 人(1,309 人)
	軽症	74.6 人(1,567 人)	72.8 人(946 人)	77.6 人(621 人)
	合計	182.2 人(3,826 人)	136.9 人(1,780 人)	255.8 人(2,046 人)

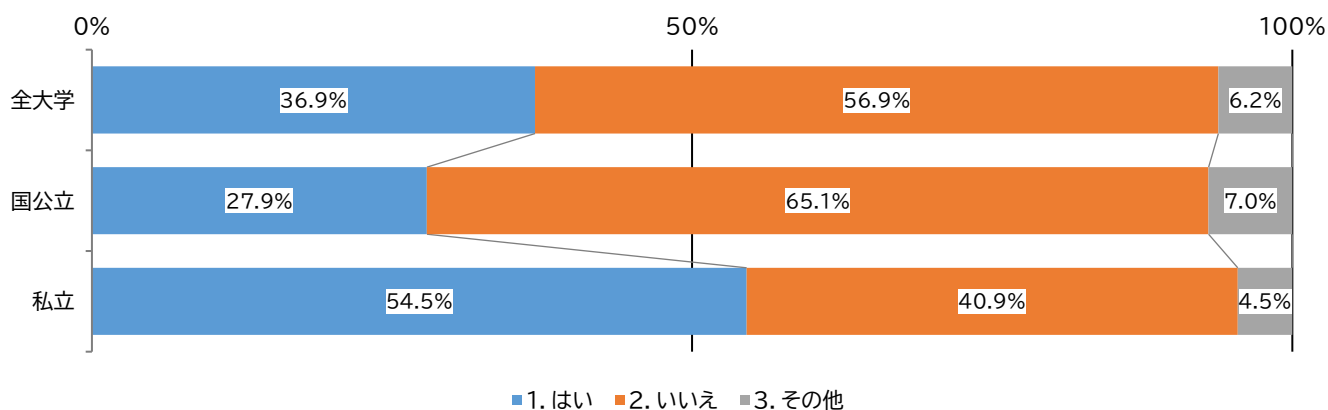
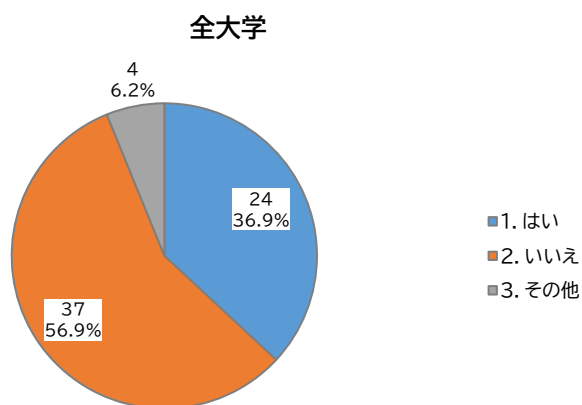
※平均(実数)



COVID-19 入院診療に関わる大学総合診療関連部門と患者数は、2019 年度から 2021 年度にかけて年々増加していたが、数大学が精力的に対応している実態が明らかになった。入院患者数は大学毎に大きなばらつきがあり、2020 年度・2021 年度の COVID-19 入院患者数は、国公立大学より私立大学で多い傾向にあった。担当している COVID-19 患者は軽症・中等症が主体で、重症例にも対応する総合診療関連部門はほぼ私立大学に限られていた。

Q7-1-3. 大学病院での院内感染制御(Infection Control Team)のメンバーに加わっていますか？

		全大学	国公立	私立
N		65	43	22
Q7-1-3	1. はい	24(36.9%)	12(27.9%)	12(54.5%)
	2. いいえ	37(56.9%)	28(65.1%)	9(40.9%)
	3. その他	4(6.2%)	3(7.0%)	1(4.5%)

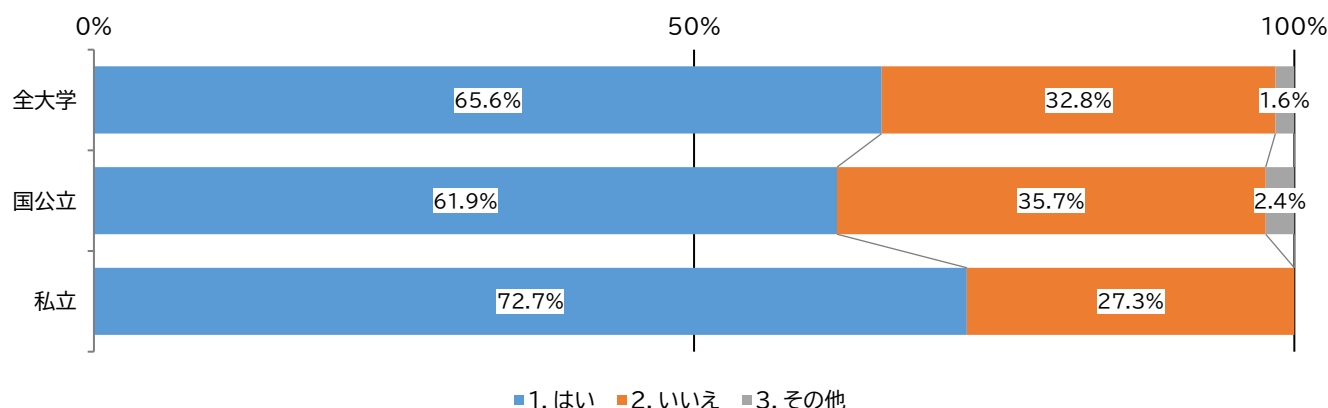
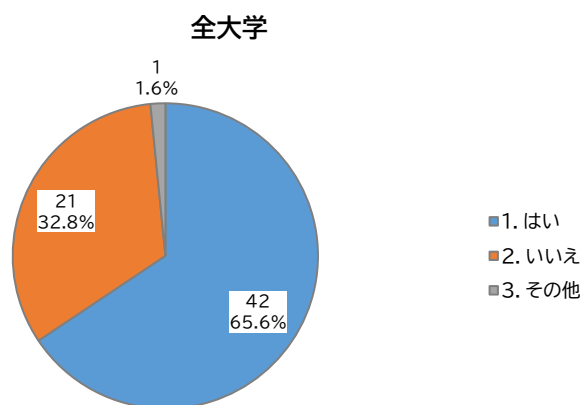


65 大学中、24 大学(36.9%)の総合診療関連部門が院内感染制御チームにメンバーとして参加していた。参加している大学の割合は、国公立大学(27.9%)に比べ、私立大学(54.5%)で高かった。

Q7-1-4. 大学内・外での新型コロナウイルスワクチン接種業務について

Q7-1-4-1. 大学内での新型コロナウイルスワクチン接種業務に加わっていますか？

		全大学	国公立	私立
N		64	42	22
Q7-1-4-1	1. はい	42(65.6%)	26(61.9%)	16(72.7%)
	2. いいえ	21(32.8%)	15(35.7%)	6(27.3%)
	3. その他	1(1.6%)	1(2.4%)	0(0.0%)



64 大学中、42 大学(65.6%)の総合診療関連部門が大学内での新型コロナウイルスワクチン接種業務に参加していた。参加している大学の割合は、国公立大学(61.9%)に比べ、私立大学(72.7%)で高かった。

→大学内での新型コロナウイルスワクチン接種業務に加わっている場合

Q7-1-4-1-1. 貴部門スタッフが加わった延べ日数

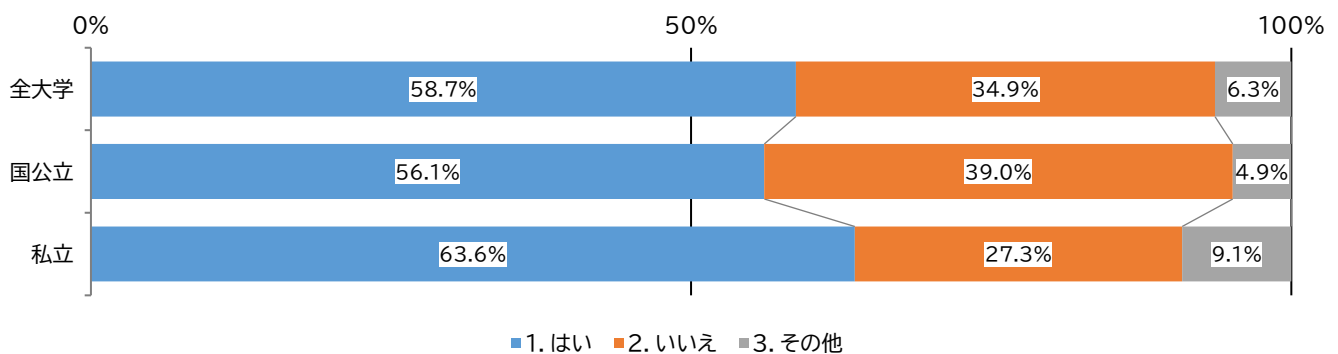
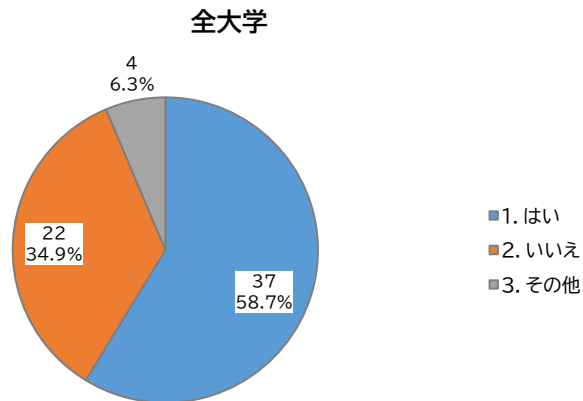
	全大学	国公立	私立
N	42	26	16
2020 年度(日)	6.2 日	4.3 日	9.2 日
2021 年度(日)	13.1 日	8.8 日	20.2 日

※業務参加した大学を分母として集計した。

大学内での新型コロナウイルスワクチン接種業務に参加していた 42 大学の総合診療関連部門では、参加述べ日数は 2020 年度・2021 年度それぞれで 6.2 日・13.1 日であった。参加延べ日数は、両年度とも国公立大学に比べて私立大学が多かった。

Q7-1-4-2. 大学外での新型コロナウイルスワクチン接種業務に加わっていますか？

		全大学	国公立	私立
N		63	41	22
Q7-1-4-2	1. はい	37(58.7%)	23(56.1%)	14(63.6%)
	2. いいえ	22(34.9%)	16(39.0%)	6(27.3%)
	3. その他	4(6.3%)	2(4.9%)	2(9.1%)



63 大学中、37 大学(58.7%)の総合診療関連部門が大学外での新型コロナウイルスワクチン接種業務に参加していた。参加している大学の割合は、国公立大学(56.1%)に比べ、私立大学(63.6%)で高かった。

→大学外での新型コロナウイルスワクチン接種業務に加わっている場合

■Q7-1-4-2-1. 貴部門スタッフが加わった延べ日数

		全大学	国公立	私立
N		37	23	14
2020 年度(日)		4.3 日	2.8 日	6.9 日
2021 年度(日)		17.6 日	22.1 日	10.3 日

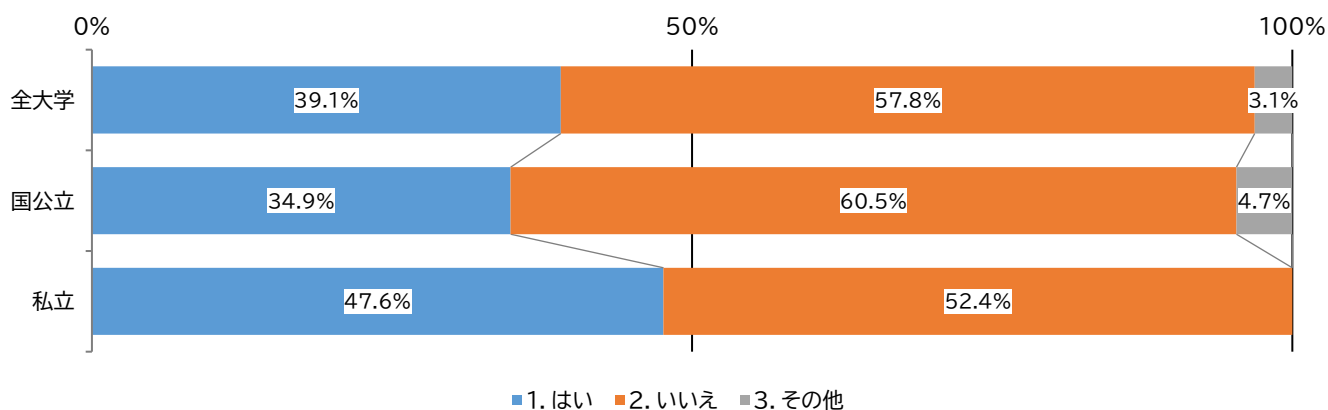
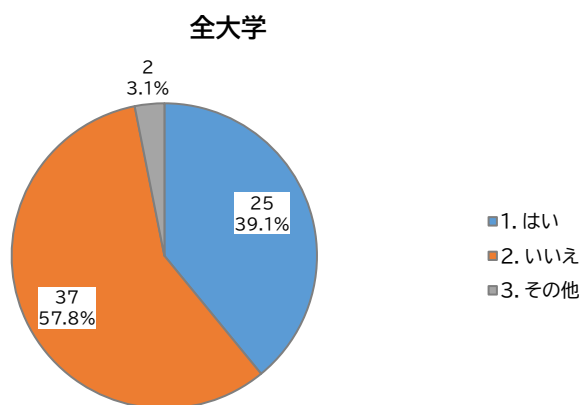
※業務参加した大学を分母として集計した。

大学外での新型コロナウイルスワクチン接種業務に参加していた 37 大学の総合診療関連部門では、参加延べ日数は 2020 年度・2021 年度それぞれで 4.3 日・17.6 日であった。2020 年度の参加延べ日数は、私立大学が国公立大学に比べて多かったが、2021 年度は逆に国公立大学が多かった。

Q7-1-5. その他の院外活動

Q7-1-5-1. 療養施設(ホテル等)での診療・相談業務等に参加していますか？

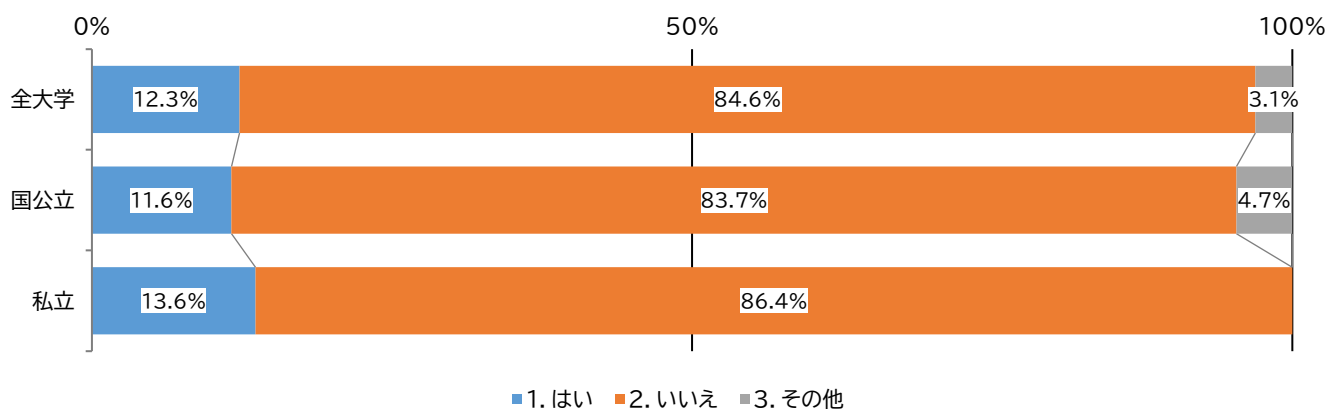
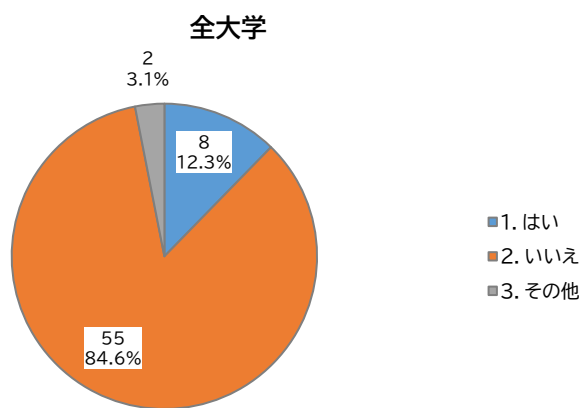
		全大学	国公立	私立
N		64	43	21
Q7-1-5-1	1. はい	25(39.1%)	15(34.9%)	10(47.6%)
	2. いいえ	37(57.8%)	26(60.5%)	11(52.4%)
	3. その他	2(3.1%)	2(4.7%)	0(0.0%)



64 大学中、25 大学(39.1%)の総合診療関連部門が療養施設(ホテル等)での診療・相談業務等に関わっていた。関わっている大学の割合は、国公立大学(34.9%)に比べ、私立大学(47.6%)で高かった。

Q7-1-5-2. 大学病院外でのクラスター対応業務等に参加していますか？

		全大学	国公立	私立
N		65	43	22
Q7-1-5-2	1. はい	8(12.3%)	5(11.6%)	3(13.6%)
	2. いいえ	55(84.6%)	36(83.7%)	19(86.4%)
	3. その他	2(3.1%)	2(4.7%)	0(0.0%)

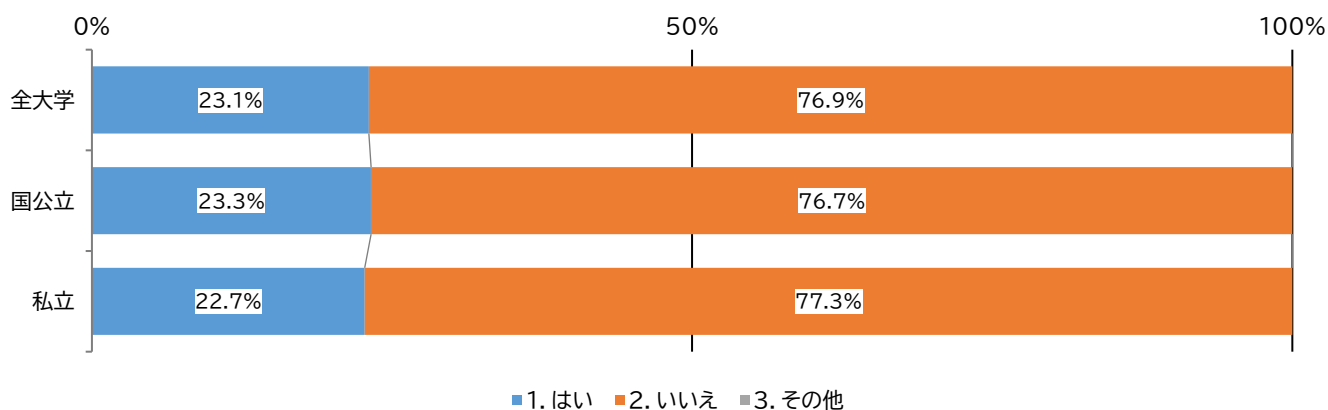
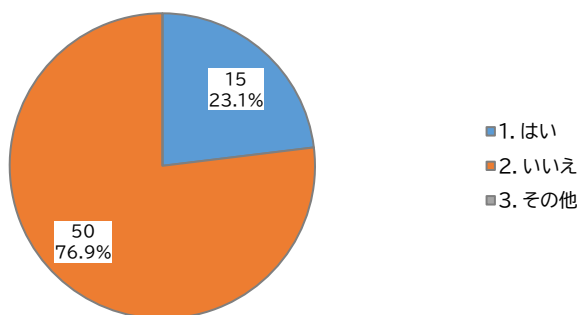


65 大学中、8 大学(12.3%)の総合診療関連部門が大学病院外でのクラスター対応業務に参加していた。

Q7-1-5-3. COVID-19 対応の行政活動(市町村や都道府県、国の保健業務)に関わっていますか？

		全大学	国公立	私立
N		65	43	22
Q7-1-5-3	1. はい	15(23.1%)	10(23.3%)	5(22.7%)
	2. いいえ	50(76.9%)	33(76.7%)	17(77.3%)
	3. その他	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)

全大学

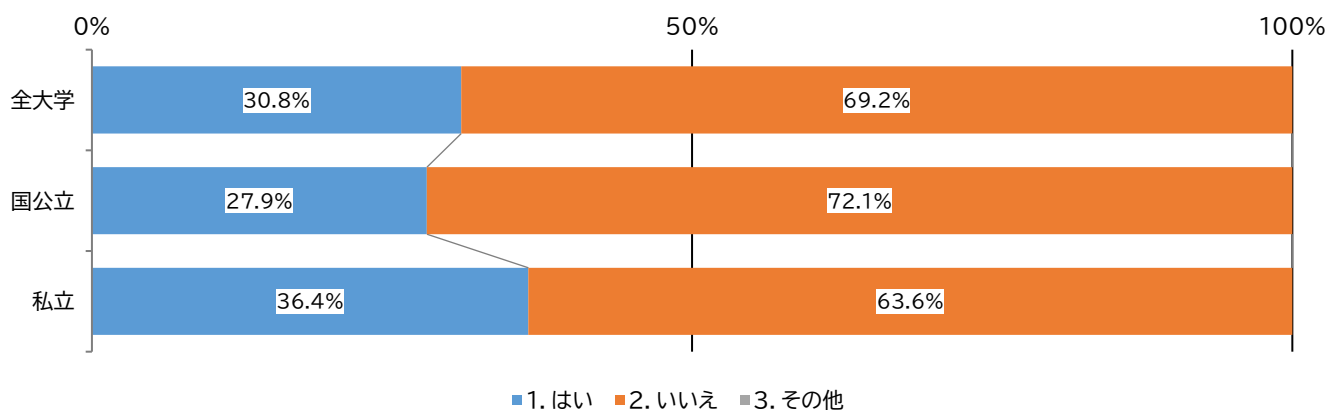
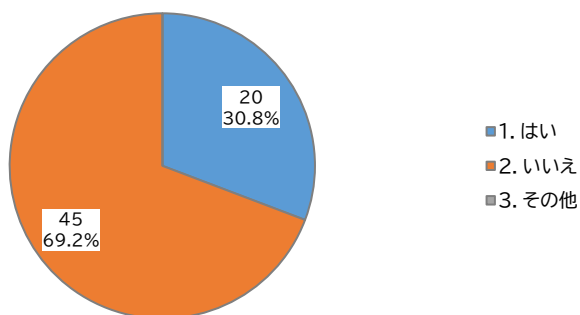


65 大学中、15 大学(23.1%)の総合診療関連部門が COVID-19 対応の行政活動(市町村や都道府県、国の保健業務)に関わっていた。

Q7-1-5-4. COVID-19 対応で院外活動(医師会活動、他自治体への緊急応援等)に派遣された実績がありますか？

		全大学	国公立	私立
N		65	43	22
Q7-1-5-4	1. はい	20(30.8%)	12(27.9%)	8(36.4%)
	2. いいえ	45(69.2%)	31(72.1%)	14(63.6%)
	3. その他	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)

全大学



65 大学中、20 大学(30.8%)の総合診療関連部門が COVID-19 対応の院外活動(医師会派遣・自治体への緊急応援等)に派遣された実績があった。派遣実績のある大学の割合は、国公立大学(27.9%)に比べ、私立大学(36.4%)で高かった。

Q7-2. その他、COVID-19 対応に関する業務・貢献について記入して下さい。

保健所の高齢者施設支援、高齢者施設のクラスター支援、ワクチン接種の積極的協力、住民に対するコロナ対策の講演、介護職や看護師への講演、医師会での講演
ワクチン接種後の慢性期副作用様症状に対する相談外来を兵庫県内で 2 カ所が行っておりその 1 カ所が当科である
本院の新型コロナウイルス対策会議に参加。執行部と現場との情報共有を実践。 第 1 波の際結成された内科混合病棟診療チームのうち、半分のチームを統括。 COVID 病棟入院患者の原因不明の病態に対する診療支援。
総合診療部外来の発熱外来への一時的転用 職員や外来患者の感染診断
COVID-19 クラスター患者の院内対応
大学医学部附属病院では検温スクリーニング部門を立ち上げ、全ての来院者(患者、家族など含む)に対して発熱や気道症状、流行地域への移動歴などを確認した。COVID-19 感染の可能性があると考えられた場合には総合診療部医師がトリアージ担当として詳しい情報を確認し、該当患者の主治医と相談のうえ必要に応じて院外での検体検査や診察などを担当した。
発熱外来患者の院内 PCR 検査:週2件、ホテル療養所診察数:2671 件、ドライブスルーPCR 検査数:6619 件
初診の発熱外来は総合診療部(時間内)・救急部(時間外)が一手に担った。 マニュアル作成の中心的役割を担った。
発熱外来、職員外来を担当
診療・検査医療機関の主たる担当医 歯科医療センターの術前 PCR 検体採取
感染症内科は病院内外での診療や感染防御体制に携わってもらうため、患者数が多い場合には学内の COVID-19 患者の診療体制からはずして、眼科や皮膚科を含めた全科で診療する体制を築いた。
教育サテライト施設の常勤医は、町や学校のワクチン接種に携わっています。
発熱患者の外来担当。COVID-19 後遺症外来及びコロナワクチン接種後副反応対応外来。
玄関トリアージ、発熱テントへの対応
内科入院患者に加えて、産科入院患者を併診。
サテライト診療機関において、感染対応のための戦略、組織運営、外来および入院業務を行なっている
コロナ後遺症患者対応、ワクチン副反応患者対応
病院内のスクリーニング検査業務、県のコロナ専門部会委員、ワクチン接種業務への参加
コロナワクチン接種後の後遺症について、当科が窓口として診療してまいりました。2022 年度からは、内科全体で対応する形に変更されています。
院内での患者対応は中心に行っている。職員の発熱対応にも対処している。 委員会や対策においても中心的役割を担っている。
ER,総合診療科外来で明らかな発熱以外の COVID-19 疑いも含めた初診患者や、当院かかりつけの発熱患者の対応をしてきた。
COVID-19 の院内での対策は、感染制御部が中心で、COVID-19 は呼吸器内科が主導している。当科はそこに積極的に協力している。
<ul style="list-style-type: none"> ●病院全体の COVID-19 診療体制の構築を行いました。 ●休日夜間を含めて新たに発生した COVID-19(軽症から中等症 II)の対応と軽症から中等症 II の入院患者を担当しています。入院時で重症または重症に悪化した場合、呼吸器内科に転科していました。 ●宿泊療養施設に入所している患者さんに対するオンライン診療やその管理を行っています。

■ 配布調査票

大学総合診療関連部門に関するアンケート

(2022年4月1日時点での状況をご回答下さい。)

回答日 2022 年 月 日

大学名

※部門名 (名称が複数あり、分けて入力したい場合は事務局へお問い合わせ下さい。)
 ※記入例1 (〇〇大学病院 総合診療科)
 ※記入例2 (〇〇大学大学院医学系研究科 総合診療学分野)

部門名

記入者氏名

住所

電話番号

e-mailアドレス

HP情報 (URL)

は該当項目を選択し、 は指定された区分よりあてはまる項目を選択し、
 には数値または具体的な記述をご記入下さい。
 は検算用のため編集できません。

注意

- 1 集計の都合上、行・列の挿入・削除は行わないで下さい。
- 2 回答はすべて、2022年4月1日時点での状況をご回答下さい。
- 3 ご回答に際しましては、設問末尾の () 内に記入してあります注意点を参考下さい。

Part I : 基本情報について伺います。

Q1. 構成メンバーの人数をご記入下さい。(数字を直接記入、該当がなければ0を記入)
 (2022年4月1日時点で雇用されている方の状況をご回答下さい。)
 ※大学病院、大学組織のサテライト医療機関を含みます。

1. 教授 (総合診療部門に所属する病院教授等を含む)
 本務: 人 兼務: 人 合計: 人 (検算用のため自動計算)

2. 准教授 (総合診療部門に所属する病院准教授等を含む)
 本務: 人 兼務: 人 合計: 人 (検算用のため自動計算)

3. 講師 (総合診療部門に所属する病院講師等を含む)
 本務: 人 兼務: 人 合計: 人 (検算用のため自動計算)

4. 助教 (専攻医は含めない)
 本務: 人 兼務: 人 合計: 人 (検算用のため自動計算)

5. 医員, 助教等 (専攻医は含めない)
 本務: 人 兼務: 人 合計: 人 (検算用のため自動計算)

6. 専攻医 (大学病院以外で勤務している基幹型専攻医も含める)
 人
 ※専攻医は、大学病院が基幹施設である総合診療専門研修プログラム (日本専門医機構認定) に登録されている医師を指す。
 大学病院以外で勤務している基幹型専攻医も含める。

1年目	<input type="text"/> 名	うち大学病院で勤務している専攻医	<input type="text"/> 名
2年目	<input type="text"/> 名	うち大学病院で勤務している専攻医	<input type="text"/> 名
3年目	<input type="text"/> 名	うち大学病院で勤務している専攻医	<input type="text"/> 名
4年目	<input type="text"/> 名	うち大学病院で勤務している専攻医	<input type="text"/> 名
研修中断中の専攻医	<input type="text"/> 名	うち大学病院で勤務している専攻医	<input type="text"/> 名
	<input type="text"/> 名(検算用)		<input type="text"/> 名(検算用)

7. その他 (医師以外の専門職)
 本務: 人 兼務: 人 合計: 人 (検算用のため自動計算)

合計 (検算用のため自動計算)
 本務: 人 兼務: 人 合計: 人

Q1-2. 上記構成メンバーの中で、日本専門医機構の総合診療専門研修プログラムを修了した医師数をご記入下さい。
 医師数: 人

Q2. 貴部門の設置形態について教えて下さい。

1. 医学部に設置された講座
 2. 大学附属病院内の診療部門
 3. 1と2の兼務
 4. その他

▶その他を選択した場合は下記に詳細を入力して下さい。

Q3. 貴部門の設置種別について教えて下さい。

1. 専任部門【追加設問あり】
 2. 兼任部門
 3. その他

▶その他を選択した場合は下記に詳細を入力して下さい。

→1. 専任部門である場合
Q3-1. 当てはまる番号を選択して下さい。

1. 学内設置である
 2. 寄附講座である【追加設問あり】
 3. 学内設置と寄附講座の両方

→寄附講座である場合、寄附者はどこでしょうか。
 当てはまる番号を選択して下さい。(複数回答可)

1. 都道府県
 2. 市
 3. 町
 4. 村
 5. 企業等
 6. その他

▶その他を選択した場合は下記に詳細を入力して下さい。

Q4. 診療/教育/研究/その他のエフォートについてお答え下さい。
 (部門全体としての概ねのエフォート割合を合計100%となるように記入して下さい。 ※数字記入、なければ0)

<input type="text"/>	1. 診療
<input type="text"/>	2. 教育
<input type="text"/>	3. 研究
<input type="text"/>	4. その他
<input type="text"/>	合計 (検算用のため自動計算)

▶その他を選択した場合は下記に詳細を入力して下さい。

Q5. 貴部門の下記専門研修プログラムへの関わりについて伺います。

Q5-1. 総合診療専門研修プログラム (日本専門医機構)

1. 貴部門が基幹として運営している
 ①はい ②いいえ

2. 貴部門が連携施設となっている (自施設内の連携を含みます。 Q5-2~5-6まで同様)
 ①はい ②いいえ

Q5-2. 内科専門研修プログラム (日本専門医機構)

1. 貴部門が基幹として運営している
 ①はい ②いいえ

2. 貴部門が連携施設となっている
 ①はい ②いいえ

Q5-3. 救急専門研修プログラム (日本専門医機構)

1. 貴部門が基幹として運営している
 ①はい ②いいえ

2. 貴部門が連携施設となっている
 ①はい ②いいえ

Q5-4. 新家庭医療専門研修プログラム (JPCA)

1. 貴部門が基幹として運営している
 ①はい ②いいえ

2. 貴部門が連携施設となっている
 ①はい ②いいえ

Q5-5. 病院総合診療専門研修プログラム (日本病院総合診療医学会) (※予定についてご記入下さい)

1. 貴部門が基幹として運営している
 ①はい ②いいえ

2. 貴部門が連携施設となっている
 ①はい ②いいえ

Q5-6. その他の専門研修プログラム
 上記の専門研修プログラム以外で、貴部門が基幹型、あるいは連携施設となっている専門研修プログラムがあれば記入して下さい。

回答例	プログラム名	感染症専門研修プログラム	領域名	感染症	<input type="checkbox"/>	基幹型
					<input type="checkbox"/>	連携施設
その他①	プログラム名		領域名		<input type="checkbox"/>	基幹型
					<input type="checkbox"/>	連携施設
その他②	プログラム名		領域名		<input type="checkbox"/>	基幹型
					<input type="checkbox"/>	連携施設
その他③	プログラム名		領域名		<input type="checkbox"/>	基幹型
					<input type="checkbox"/>	連携施設
その他④	プログラム名		領域名		<input type="checkbox"/>	基幹型
					<input type="checkbox"/>	連携施設

Part II：診療について伺います。

Q6. 大学病院における診療についてお伺いします。(大学病院の分院を含む)

Q6-1. 大学病院で外来診療を行っていますか？

1. 行っている【追加設問あり】
 2. 行っていない
 3. その他

▶その他を選択した場合は下記に詳細を入力して下さい。

→1. 行っている場合

Q6-1-1. 通常の開診日数を記入して下さい。

日/週

Q6-1-2. 診療実績を記入して下さい。(※2021年度の年間患者数を記入して下さい。)

人/年 1. 新患の患者数(初診患者数)
人/年 2. 再診の患者数(延べ数)

Q6-2. 大学病院で入院診療を行っていますか？

※担当科として入院診療を行っている場合を指します。

1. 行っている【追加設問あり】
 2. 行っていない
 3. その他

▶その他を選択した場合は下記に詳細を入力して下さい。

→1. 行っている場合

Q6-2-1. 新入院患者数/年間平均在院日数を記入して下さい。

(※2021年度の実績を記入して下さい。)

人/年 1. 新入院患者数
日 2. 年間平均在院日数

Q6-3. 大学病院で救急医療に関わっていますか？

1. 関わっている【追加設問あり】
 2. 関わっていない
 3. その他

▶その他を選択した場合は下記に詳細を入力して下さい。

→1. 関わっている場合

Q6-3-1. 対応している内容

1. ウォークイン患者のみ担当
 2. ウォークイン患者以外も担当(救急車など)
 3. その他

▶その他を選択した場合は下記に詳細を入力して下さい。

Q6-3-2. 総合診療部門として対応した年間延べ患者数を記入して下さい。

(※2021年度の実績を記入して下さい。)

人/年

Q6-4. 大学病院で特殊診療を担当していますか？(当てはまるもの全てに○印を付けて下さい。複数選択可)

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 禁煙外来 | <input type="checkbox"/> 8. 睡眠外来 |
| <input type="checkbox"/> 2. 物忘れ外来(認知症外来) | <input type="checkbox"/> 9. 思春期外来 |
| <input type="checkbox"/> 3. 漢方外来 | <input type="checkbox"/> 10. コロナ後遺症外来 |
| <input type="checkbox"/> 4. 女性外来 | <input type="checkbox"/> 11. 渡航外来(予防接種を含む) |
| <input type="checkbox"/> 5. 肥満外来 | <input type="checkbox"/> 12. 感染症外来(HIVも含む) |
| <input type="checkbox"/> 6. 高齢者外来 | <input type="checkbox"/> 13. その他 |
| <input type="checkbox"/> 7. 生活習慣病外来 | |

▶その他を選択した場合は下記に詳細を入力して下さい。

Q7. COVID-19診療等についてお伺いします。

Q7-1. COVID-19診療についてお伺いします。

Q7-1-1. 大学病院でのCOVID-19の外来診療(発熱外来等を含む)を担当していますか？

1. はい
 2. いいえ
 3. その他

▶その他を選択した場合は下記に詳細を入力して下さい。

Q7-1-2. 大学病院でのCOVID-19の入院診療を担当していますか？

1. はい【追加設問あり】
 2. いいえ
 3. その他

▶その他を選択した場合は下記に詳細を入力して下さい。

→1. はいと回答した場合

Q7-1-2-1. 担当したCOVID-19入院患者数

※厚労省の「新型コロナウイルス感染症診療の手引き 第6.1版」を参考して下さい。

また、入院中に病状が変動した際は、最終的に最も重かった病状に分類して下さい。

2019年度 重症 名 中等症 名 軽症 名
 合計 0名
 (↑検算用のため自動計算)

2020年度 重症 名 中等症 名 軽症 名
 合計 0名
 (↑検算用のため自動計算)

2021年度 重症 名 中等症 名 軽症 名
 合計 0名
 (↑検算用のため自動計算)

Q7-1-3. 大学病院での院内感染制御(Infection Control Team)のメンバーに加わっていますか？

1. はい
 2. いいえ
 3. その他

▶その他を選択した場合は下記に詳細を入力して下さい。

Q7-1-4. 大学内・外での新型コロナウイルスワクチン接種業務について

Q7-1-4-1. 大学内での新型コロナウイルスワクチン接種業務に加わっていますか？

1. はい【追加設問あり】
 2. いいえ
 3. その他

▶その他を選択した場合は下記に詳細を入力して下さい。

→1. はいと回答した場合

Q7-1-4-1-1. 貴部門スタッフが加わった延べ日数

2020年度 日
 2021年度 日

Q7-1-4-2. 大学外での新型コロナウイルスワクチン接種業務に加わっていますか？

1. はい【追加設問あり】
 2. いいえ
 3. その他

▶その他を選択した場合は下記に詳細を入力して下さい。

→1. はいと回答した場合

Q7-1-4-2-1. 貴部門スタッフが加わった延べ日数

2020年度 日
 2021年度 日

Q7-1-5. その他の院外活動

Q7-1-5-1. 療養施設（ホテル等）での診療・相談業務等に参加していますか？

1. はい
 2. いいえ
 3. その他

▶**その他を選択した場合は下記に詳細を入力して下さい。**

Q7-1-5-2. 大学病院外でのクラスター対応業務等に参加していますか？

1. はい
 2. いいえ
 3. その他

▶**その他を選択した場合は下記に詳細を入力して下さい。**

Q7-1-5-3. COVID-19対応の行政活動（市町村や都道府県、国の保健業務）に関わっていますか？

1. はい
 2. いいえ
 3. その他

▶**その他を選択した場合は下記に詳細を入力して下さい。**

Q7-1-5-4. COVID-19対応で院外活動（医師会活動、他自治体への緊急応援等）に派遣された実績がありますか？

1. はい【追加設問あり】
 2. いいえ
 3. その他

▶**その他を選択した場合は下記に詳細を入力して下さい。**

→1. はいと回答した場合

Q7-1-5-4-1. 院外活動の具体的な内容を記入して下さい。

Q7-2. その他、COVID-19対応に関する業務・貢献について記入して下さい。

PartIII：教育について伺います。

Q8. 教育

Q8-1. 卒前教育（該当する部分に直接ご記入下さい。）

Q8-1-1. 講義

貴部門が担当している講義について記入して下さい。

①

・担当講義名： _____

・対象学生： _____

1. 医学生 2. 看護学生 3. 歯学部生 4. 薬学部生 5. その他

▶**その他を選択した場合は下記に詳細を入力して下さい。**

・対象学年： _____ 年生

・コマ数： _____ コマ/年

・1コマの時間： _____ 分

②

・担当講義名： _____

・対象学生： _____

1. 医学生 2. 看護学生 3. 歯学部生 4. 薬学部生 5. その他

▶**その他を選択した場合は下記に詳細を入力して下さい。**

・対象学年： _____ 年生

・コマ数： _____ コマ/年

・1コマの時間： _____ 分

③

・担当講義名： _____

・対象学生： _____

1. 医学生 2. 看護学生 3. 歯学部生 4. 薬学部生 5. その他

▶**その他を選択した場合は下記に詳細を入力して下さい。**

・対象学年： _____ 年生

・コマ数： _____ コマ/年

・1コマの時間： _____ 分

④

・担当講義名： _____

・対象学生： _____

1. 医学生 2. 看護学生 3. 歯学部生 4. 薬学部生 5. その他

▶**その他を選択した場合は下記に詳細を入力して下さい。**

・対象学年： _____ 年生

・コマ数： _____ コマ/年

・1コマの時間： _____ 分

⑤

・担当講義名： _____

・対象学生： _____

1. 医学生 2. 看護学生 3. 歯学部生 4. 薬学部生 5. その他

▶**その他を選択した場合は下記に詳細を入力して下さい。**

・対象学年： _____ 年生

・コマ数： _____ コマ/年

・1コマの時間： _____ 分

⑥

・担当講義名： _____

・対象学生： _____

1. 医学生 2. 看護学生 3. 歯学部生 4. 薬学部生 5. その他

▶**その他を選択した場合は下記に詳細を入力して下さい。**

・対象学年： _____ 年生

・コマ数： _____ コマ/年

・1コマの時間： _____ 分

⑦

・担当講義名： _____

・対象学生： _____

1. 医学生 2. 看護学生 3. 歯学部生 4. 薬学部生 5. その他

▶**その他を選択した場合は下記に詳細を入力して下さい。**

・対象学年： _____ 年生

・コマ数： _____ コマ/年

・1コマの時間： _____ 分

⑧

・担当講義名： _____

・対象学生： _____

1. 医学生 2. 看護学生 3. 歯学部生 4. 薬学部生 5. その他

▶**その他を選択した場合は下記に詳細を入力して下さい。**

・対象学年： _____ 年生

・コマ数： _____ コマ/年

・1コマの時間： _____ 分

Q8-1-2. 演習

貴部門が担当している演習について記入して下さい。

(例：PBL、TBL、身体診察演習、等)

*実際の教育の場が、大学病院の中か外かは問いません。

①

・担当演習名： _____

・対象学生： _____

1. 医学生 2. 看護学生 3. 歯学部生 4. 薬学部生 5. その他

▶**その他を選択した場合は下記に詳細を入力して下さい。**

・対象学年： _____ 年生

・コマ数： _____ コマ/年

・1コマの時間： _____ 分

②

・担当演習名： _____

・対象学生： _____

1. 医学生 2. 看護学生 3. 歯学部生 4. 薬学部生 5. その他

▶**その他を選択した場合は下記に詳細を入力して下さい。**

・対象学年： _____ 年生

・コマ数： _____ コマ/年

・1コマの時間： _____ 分

③

・担当演習名： _____

・対象学生： _____

1. 医学生 2. 看護学生 3. 歯学部生 4. 薬学部生 5. その他

▶**その他を選択した場合は下記に詳細を入力して下さい。**

・対象学年： _____ 年生

・コマ数： _____ コマ/年

・1コマの時間： _____ 分

④

・担当演習名： _____

・対象学生： _____

1. 医学生 2. 看護学生 3. 歯学部生 4. 薬学部生 5. その他

▶**その他を選択した場合は下記に詳細を入力して下さい。**

・対象学年： _____ 年生

・コマ数： _____ コマ/年

・1コマの時間： _____ 分

Q8-1-3. 臨床実習

貴部門が担当している臨床実習について記入して下さい。
 *実際の教育の場が、大学病院の中が外かは問いません。

①

・実習名：

・対象学生：
 1. 医学生 2. 看護学生 3. 歯学部生 4. 薬学部生 5. その他
 ▶**その他を選択した場合は下記に詳細を入力して下さい。**

・対象学年： _____ 年生

・実習単位： _____ 週/年
 _____ 人/グループ× _____ 日/グループ× _____ 回/年

・実習単位(その他)： _____

②

・実習名：

・対象学生：
 1. 医学生 2. 看護学生 3. 歯学部生 4. 薬学部生 5. その他
 ▶**その他を選択した場合は下記に詳細を入力して下さい。**

・対象学年： _____ 年生

・実習単位： _____ 週/年
 _____ 人/グループ× _____ 日/グループ× _____ 回/年

・実習単位(その他)： _____

③

・実習名：

・対象学生：
 1. 医学生 2. 看護学生 3. 歯学部生 4. 薬学部生 5. その他
 ▶**その他を選択した場合は下記に詳細を入力して下さい。**

・対象学年： _____ 年生

・実習単位： _____ 週/年
 _____ 人/グループ× _____ 日/グループ× _____ 回/年

・実習単位(その他)： _____

④

・実習名：

・対象学生：
 1. 医学生 2. 看護学生 3. 歯学部生 4. 薬学部生 5. その他
 ▶**その他を選択した場合は下記に詳細を入力して下さい。**

・対象学年： _____ 年生

・実習単位： _____ 週/年
 _____ 人/グループ× _____ 日/グループ× _____ 回/年

・実習単位(その他)： _____

Q8-2. 医師(初期)臨床研修

2021年度の指導実績を記入して下さい。(研修1,2年目をあわせて)
 研修実績(延べ数) _____ 人/年

Q8-3. 大学院教育

Q8-3-1. 貴部門には大学院指導資格がありますが。(博士課程を担当しているか否か)

1. はい
 2. いいえ
 3. その他

▶**その他を選択した場合は下記に詳細を入力して下さい。**

Q8-3-2. 大学院生数(博士課程)

(2022年4月1日時点での大学院生数をご回答下さい。)

*貴部門が主指導教員となっている大学院生のみをカウントして下さい。
 _____ 名(回答時の指導大学院生数)

Q8-3-3. 2019~2021年度の学位取得者数

*貴部門が主指導教員となって、博士課程の学位を取得した人数を記入して下さい。
 _____ 名

PartIV: 研究について伺います。

Q9. 研究(該当する部分に直接ご記入下さい。)

(貴部門の所属メンバーが確実に名前を連ねている実績についてご回答下さい。)

例:1つの研究で、貴部門の所属メンバーが代表者と分担者になっていた場合は、研究代表1件として回答して下さい。

Q9-1. 外部資金獲得件数(2019年度-2021年度の合計)

研究代表: _____ 件
 研究分担: _____ 件

Q9-2. 学会発表件数(シンポジウム含む)(2019年度-2021年度の合計)

国際学会: _____ 件
 国内学会: _____ 件
 →全国規模: _____ 件
 →地方会等: _____ 件

Q9-3. 学会招待講演(基調講演・教育講演等)回数(2019年度-2021年度の合計)

_____ 回

Q9-4. 論文本数(2019年度-2021年度の合計)

欧文: _____ 本
 和文: _____ 本

Q9-5. 貴部門で取り組まれている研究に該当するカテゴリをご選択下さい

(45. 以外の当てはまるもの全てに○・複数回答可) ※JPCA分類コード一覧

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 家族志向のケア | <input type="checkbox"/> 26. 在宅医療 |
| <input type="checkbox"/> 2. 患者中心の医療 | <input type="checkbox"/> 27. 救急医療 |
| <input type="checkbox"/> 3. 健康の社会的決定要因(SDH) | <input type="checkbox"/> 28. 災害医療 |
| <input type="checkbox"/> 4. 多疾患併存 | <input type="checkbox"/> 29. ICT・遠隔医療 |
| <input type="checkbox"/> 5. 地域志向のケア | <input type="checkbox"/> 30. 障害とリハビリテーション |
| <input type="checkbox"/> 6. チーム医療・ケアの調整や移行 | <input type="checkbox"/> 31. スポーツ・運動医学 |
| <input type="checkbox"/> 7. 長期的な金銭的関係に基づくケア | <input type="checkbox"/> 32. セクシュアルヘルス |
| <input type="checkbox"/> 8. 統合されたケア | <input type="checkbox"/> 33. ダイバシティ |
| <input type="checkbox"/> 9. 複雑困難事例のケア | <input type="checkbox"/> 34. メンタルヘルス・行動科学 |
| <input type="checkbox"/> 10. 慢性疾患のケア | <input type="checkbox"/> 35. コミュニケーション |
| <input type="checkbox"/> 11. 未分化な健康問題/不確実性 | <input type="checkbox"/> 36. 統合医療 |
| <input type="checkbox"/> 12. 予防医学と健康増進 | <input type="checkbox"/> 37. 産業保健 |
| <input type="checkbox"/> 13. プライマリ・ケア/家庭医療学総論 | <input type="checkbox"/> 38. 国際医療 |
| <input type="checkbox"/> 14. プロフェッショナルアイデンティティ | <input type="checkbox"/> 39. EBMの実践 |
| <input type="checkbox"/> 15. 一般的な疾患・病態に対するマネジメント | <input type="checkbox"/> 40. 医療倫理 |
| <input type="checkbox"/> 16. 一般的な症候への対応と問題解決 | <input type="checkbox"/> 41. プロフェッショナリズム |
| <input type="checkbox"/> 17. 診断学/ヘルスアセスメント | <input type="checkbox"/> 42. 医療者自身のケア |
| <input type="checkbox"/> 18. 検査 | <input type="checkbox"/> 43. キャリア開発 |
| <input type="checkbox"/> 19. 手技 | <input type="checkbox"/> 44. 教育と生涯学習 |
| <input type="checkbox"/> 20. 薬物治療 | <input type="checkbox"/> 45. 研究 |
| <input type="checkbox"/> 21. 栄養・食事 | <input type="checkbox"/> 46. 公衆衛生(疫学・生物統計学、医療政策・医療経済学、感染管理を含む) |
| <input type="checkbox"/> 22. 歯科・口腔ケア | <input type="checkbox"/> 47. システムに基づく診療(患者安全・質改善を含む) |
| <input type="checkbox"/> 23. 小児・思春期の診療とケア | <input type="checkbox"/> 48. 組織マネジメント |
| <input type="checkbox"/> 24. 高齢者のケア | <input type="checkbox"/> 49. その他 |
| <input type="checkbox"/> 25. 緩和ケア/人生の最終段階におけるケア | |

▶**その他を選択した場合は下記に詳細を入力して下さい。**

Q10. 部門としての特色等を自由に記入して下さい。

※この欄は、大学間連携を促進するための資料作りを目的としています。

研究・診療・教育・その他、貴部門の特色や力を入れている取組などについて、1,000字以内で記入して下さい。

字数：0文字

この欄に記入していただいた内容は、各大学の連携促進のため大学・部門名付きで公開(共有)できればと考えております。

本旨、ご理解いただきましたら同意欄にチェックを入れて下さい。

公開(共有)に同意する

公開(共有)に同意しない

※何れかの回答を選択してください。

※アンケートは以上です。
ご協力いただき誠にありがとうございました。

あとがき

この度、多くの方々のご協力のお陰で、大学総合診療関連部門に関する全国調査の報告書を作成することができました。ご多忙の中、面倒な調査票の記入を担当して頂いた方々、大学の総合診療関連部門と日本プライマリ・ケア連合学会の関係者の皆様、ナレッジデータサービス株式会社の山下勇太様、調査の準備と実施にご協力頂いた長崎大学地域医療学分野の本多由起子先生、そしてご協力頂いた全ての方々に心より御礼を申し上げます。

本調査は日本プライマリ・ケア連合学会の大学ネットワーク委員会が企画いたしました。調査前から予想はしておりましたが、大学総合診療関連部門の多様な活動内容を改めて確認することができましたし、様々な部分に COVID-19 の影響が及んでいる中、各大学が工夫を凝らして活動している様子が見て取れました。また、精力的な活動で診療・教育・研究に多くの実績を記載しておられる大学がある一方で、限定的なスタッフや環境で頑張っておられる大学も少なくないように思われました。


総合診療関連部門は、医学教育や若手医師の育成、研究、そして地域医療の向上のために大変重要な部門であることは間違いありません。しかしながら、こうした新たな部門が診療・教育・研究・社会活動をバランス良く発展させることは容易なことではありません。多様な活動の発展と大学内でのプレゼンス向上のためにも、大学を超えた活動へとつなげていくことができればと願います。本報告書が大学連携とネットワークの進化、そして大学総合診療関連部門の発展に貢献することができれば幸いです。

末筆となりますが、関係者皆様の今後ますますのご健勝とご発展を祈念しまして、あとがきとさせていただきます。

日本プライマリ・ケア連合学会大学ネットワーク委員会 委員長
前田 隆浩

「大学総合診療関連部門に関する全国調査報告書」

発行 : 一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会
企画・編集 : 同 大学ネットワーク委員会
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 2-2-1 岸本ビルディング 6 階
調査・集計 : ナレッジデータサービス株式会社
〒603-8161 京都市北区小山北大野町 14



一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会
<https://www.primarycare-japan.com>